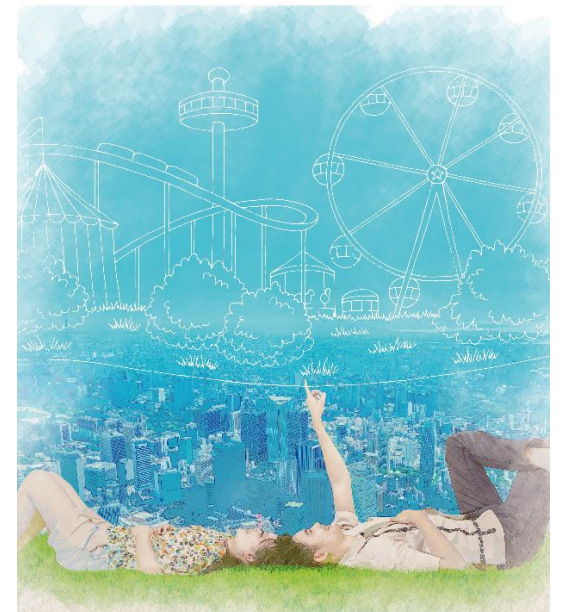


2022年度中間決算

2022年11月18日

SOMPOホールディングス株式会社



目次

決算ハイライト	3	コンバインド・レシオ	30
2022年度中間期業績概況	4	資産ポートフォリオ・資産運用損益	31
国内損保事業（損保ジャパン）の業績概況	5	（参考）海外自然災害	32
海外保険事業の業績概況	6	（参考）決算数値	33
国内生保事業（ひまわり生命）の業績概況	7	（参考）今回予想の増減要因	34
介護・シニア事業（SOMPOケア）の業績概況	8	2. SIコンシューマー（Sompoシゴルタ・Sompoセグロス）	
2022年度通期業績予想修正のポイント	9	（参考）業績概況	35
（参考）2022年度通期業績予想修正のブレークダウン	10	（参考）地域別業績概況	36
（参考）決算数値	11	国内生保事業	
（参考）経営数値目標	12	新契約年換算保険料・保有契約年換算保険料	38
事業別詳細		事業費	39
国内損保事業（損保ジャパン）		資産ポートフォリオ・資産運用損益	40
保険引受利益	14	（参考）決算数値	41
正味収入保険料	15	（参考）修正純資産のコンバージョン	42
（参考）正味収入保険料	16	介護・シニア事業	
コンバインド・レシオ	17	売上高・営業利益率	44
損害率	18	（参考）入居率・事業所数	45
事業費率	19	ERM	
資産運用損益	20	財務健全性：ESR（99.5%VaR）	47
（参考）自動車保険関連の指標	21	（参考）実質自己資本・リスク量のブレークダウン	48
（参考）火災保険、新種保険関連の指標	22		
（参考）国内自然災害	23		
（参考）資産運用損益内訳	24		
（参考）資産ポートフォリオ	25		
（参考）決算数値	26		
海外保険事業			
1. SI^{※1}コマーシャル			
保険引受利益	28		
収入保険料	29		

為替レート（米ドル/円）		
2022年度 中間期	144.81円（対前年：+29.4%）	2022年9月末
	- 海外 ^{※2} 136.68円（対前年：+23.6%）	2022年6月末
2022年度 通期業績予想	今回予想 144.81円（期初予想比：+18.3%）	2022年9月末
	（参考）期初予想 122.39円	2022年3月末

※1 SIはSompoインターナショナルを指す（以下同様）

※2 海外保険事業

2022年度中間期実績

- SIコマースの大幅増収を主因に、正味収入保険料は、+4,014億円増（+23.6%）の2兆1,032億円
- 国内自然災害や新型コロナ影響などの一時的な要因を主因に、連結純利益は△200億円、修正連結利益は508億円

損保ジャパン

保険引受利益が自然災害や新型コロナ影響を受けた一方で、資産運用利益は堅調

海外保険事業

計画を上回るトップライン成長によるSIコマースでの着実な増益

ひまわり生命

新型コロナ影響を受けたものの、Insurhealth®商品を中心に、ベースの新契約年換算保険料は拡大

SOMPOケア

入居率改善やネクサスケア社統合効果がトップライン拡大を牽引

2022年度通期業績予想（今回予想）

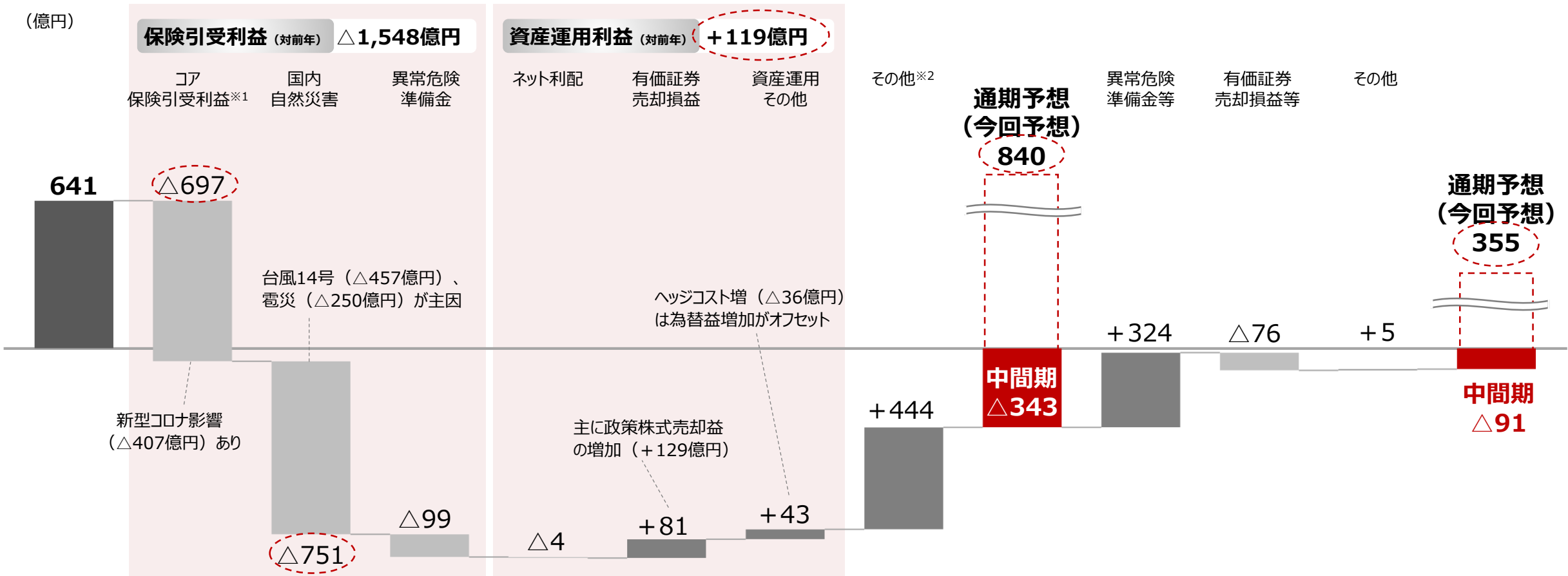
- 正味収入保険料は、SIコマースの増額修正を主因として、期初予想比+3,770億円の3兆8,180億円
- 中間期実績を踏まえ、発生保険金を保守的に織り込み、連結純利益は800億円、修正連結利益は1,600億円
- 下期は、連結純利益、修正連結利益ともに1,000億円超を着実に積み上げる想定

国内損保事業（損保ジャパン）の業績概況

- 資産運用は好調、一方の保険引受で自然災害や新型コロナ影響を受けたことから、2022年度中間期の当期純利益は△343億円
- 2022年度中間期の修正利益は△91億円、なお、**自然災害およびコロナに起因する発生保険金影響は下期に落ち着く想定**

当期純利益の増減要因

修正利益へのコンバージョン



2021年度中間期
当期純利益

2022年度
中間期
当期純利益

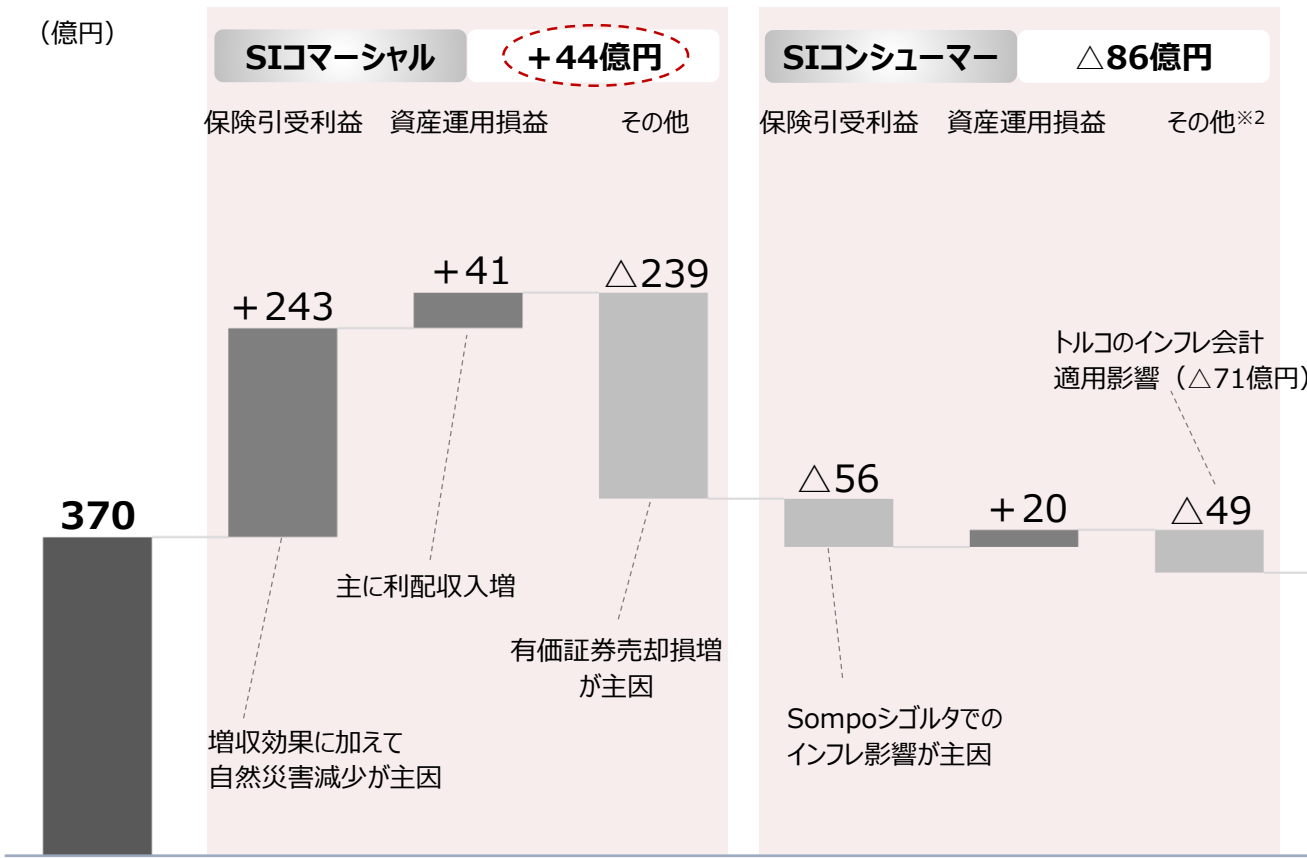
2022年度
中間期
修正利益

※1 除く国内自然災害
 ※2 特別損益、法人税等

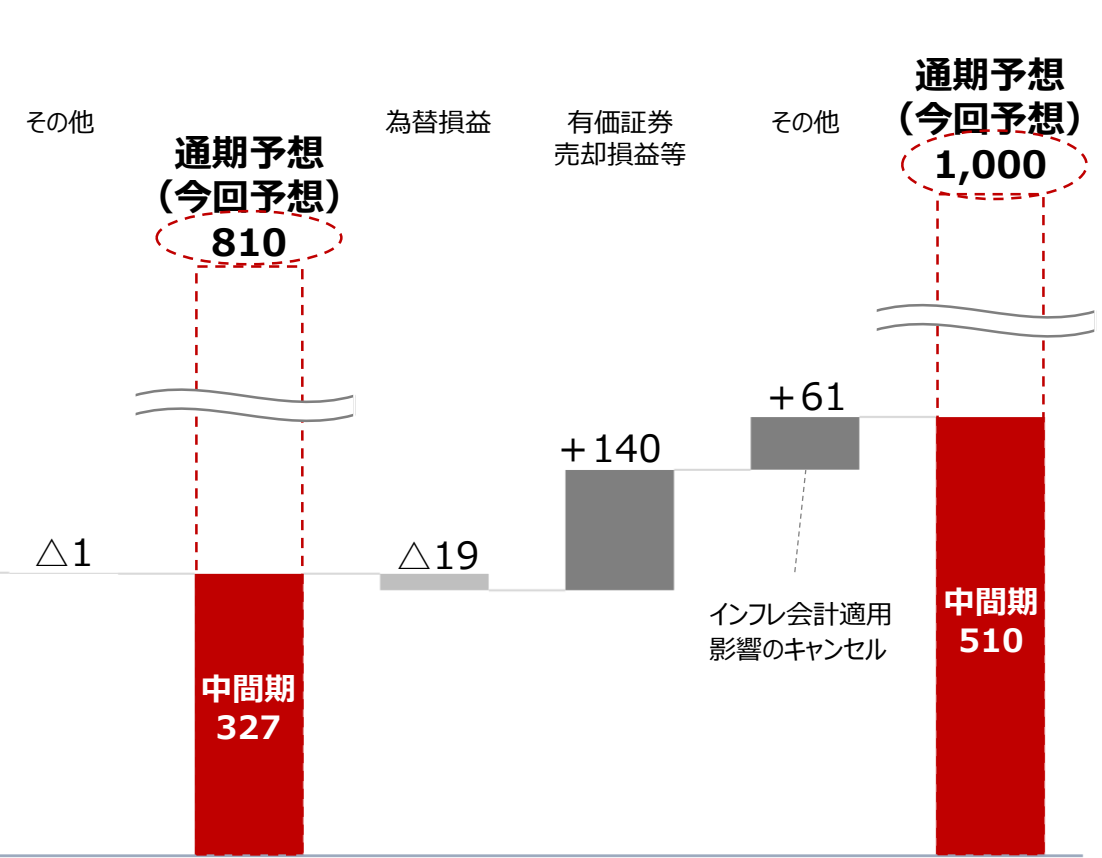
海外保険事業の業績概況

- 2022年度中間期の当期純利益は327億円、トルコでのインフレ会計適用影響を除くと増益
- SIコマースのトップライン拡大によるコンバインドレシオの改善を主因に、2022年度中間期の修正利益は510億円

当期純利益※1の増減要因



修正利益へのコンバージョン



2021年度中間期
当期純利益

※1 SIにかかる会計基準差異の修正影響を調整 (P11参照)
 ※2 非支配株主持分相当を含む

2022年度
中間期
当期純利益

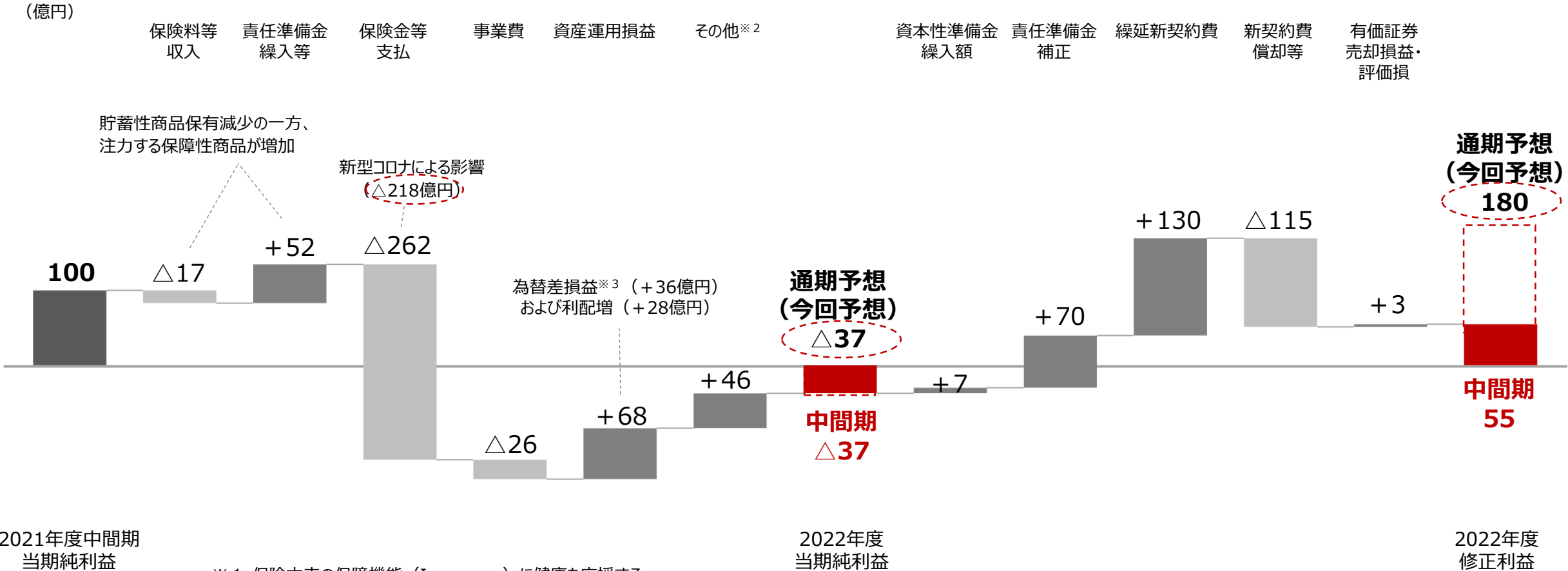
2022年度
中間期
修正利益

国内生保事業（ひまわり生命）の業績概況

- 新型コロナによる保険金等の増加影響を主因として、2022年度中間期の当期純利益は△37億円
- 2022年度中間期の修正利益は55億円、**新契約年換算保険料は、Insurhealth®商品※1を中心に順調な拡大**

当期純利益の増減要因

修正利益へのコンバージョン



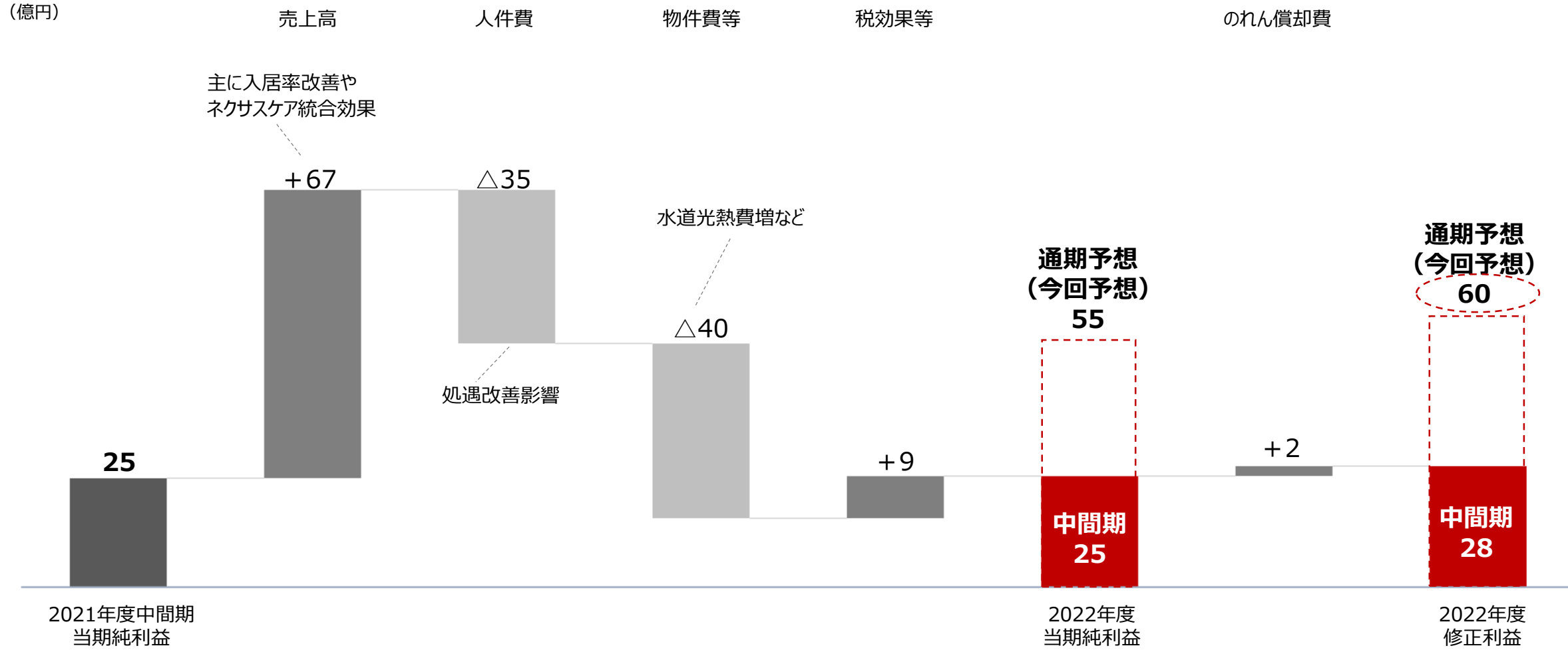
※1 保険本来の保障機能（Insurance）に健康を応援する機能（Healthcare）を組み合わせ新たな価値を提供する商品
 ※2 法人税等
 ※3 ヘッジコストを含む

介護・シニア事業（SOMPOケア）の業績概況

- 入居率改善やネクサスケア社統合効果が、売上高拡大を牽引
- 2022年度中間期の当期純利益は25億円、修正利益は28億円と計画どおり

当期純利益の増減要因

修正利益へのコンバージョン



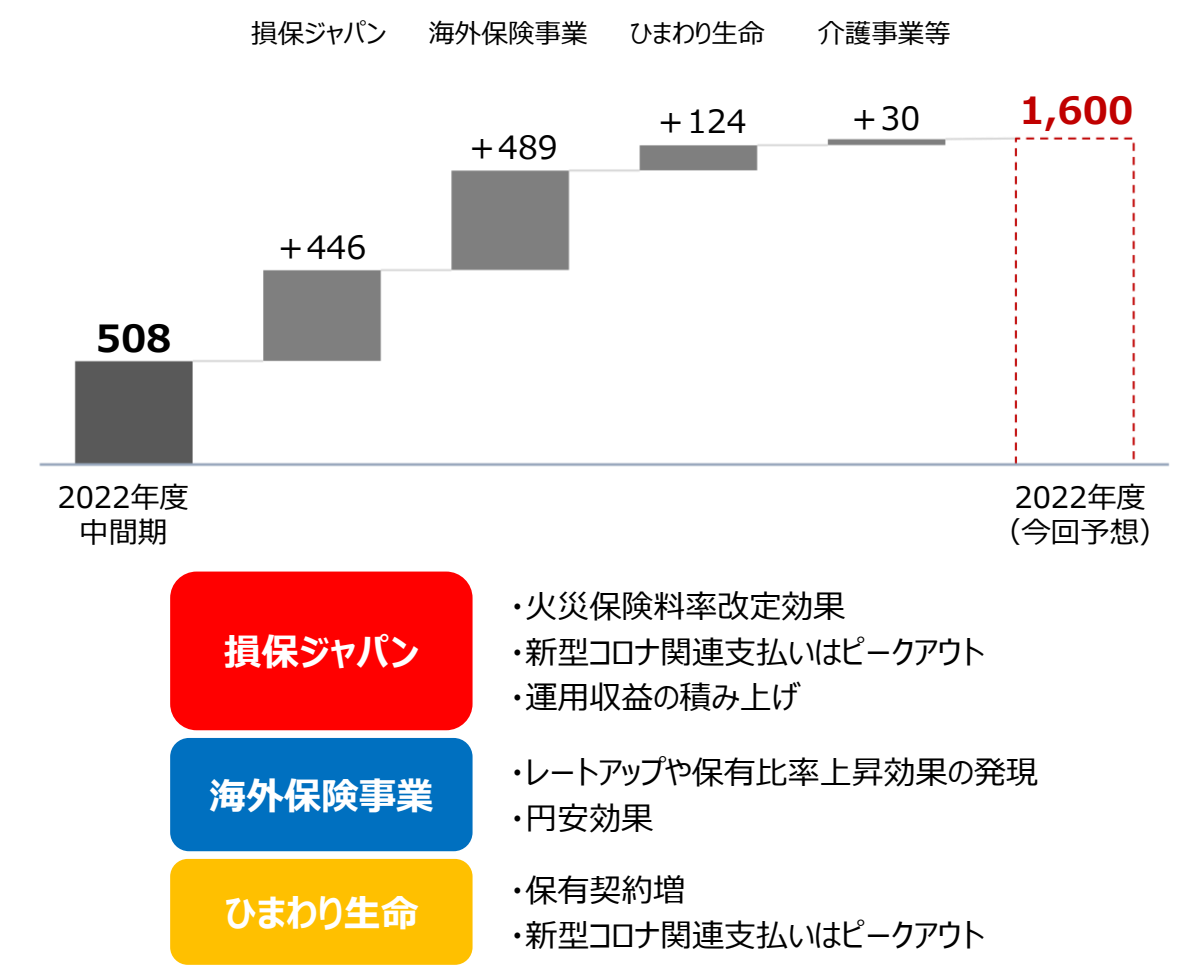
2022年度通期業績予想修正のポイント

- ・ 今回修正のポイントは、国内自然災害、新型コロナ影響のほか、自動車保険での発生保険金見直し
- ・ 2022年度下期は、**新型コロナ関連支払いのピークアウトに加え、ベースの業績を着実に積み上げる想定**

今回予想のポイント（連結純利益）

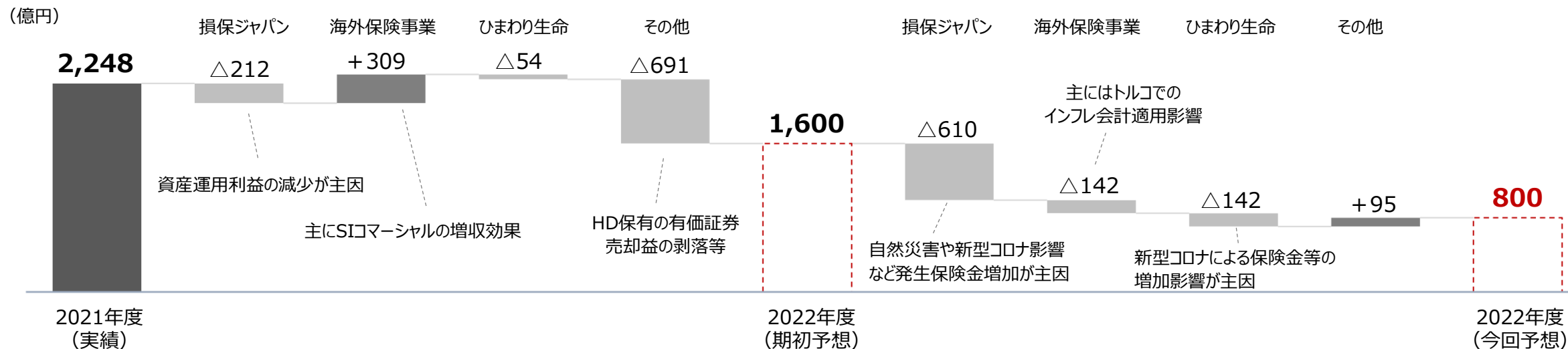


（参考）2022年度下期業績増減要因（修正連結利益）

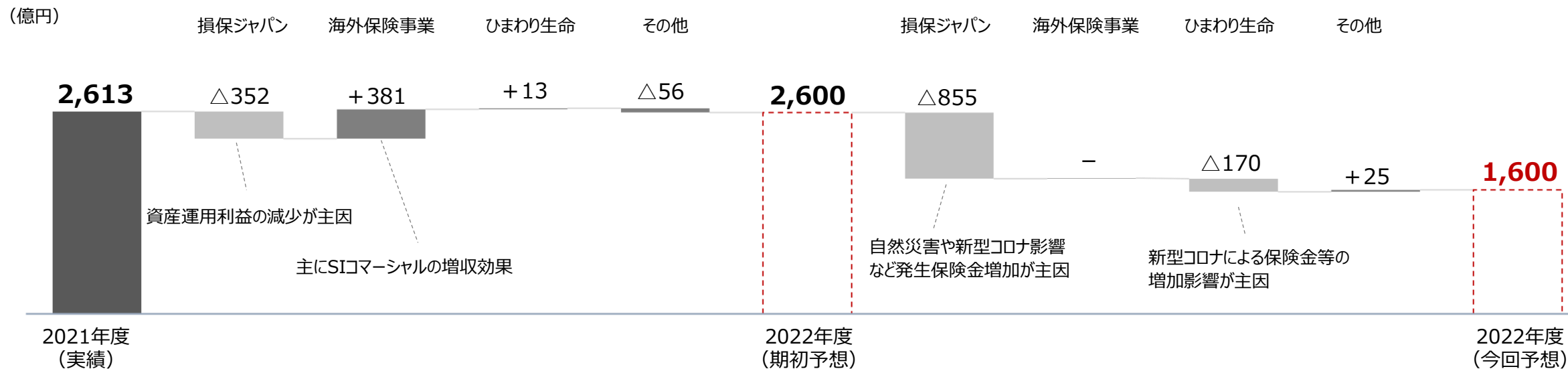


(参考) 2022年度通期業績予想修正のブレークダウン

連結純利益の増減要因



修正連結利益の増減要因



(参考) 決算数値

(単位：億円)	中間期業績			通期業績予想				
	2021年度 中間期	2022年度 中間期	増減	2021年度 実績 (A)	2022年度			対前年増減 (C-A)
					期初予想 (B)	今回予想 (C)	増減 (C-B)	
連結経常収益	21,797	25,657	+3,860	41,674	-	-	-	-
正味収入保険料	17,017	21,032	+4,014	32,157	34,410	38,180	+3,770	+6,022
生命保険料	1,579	1,568	△11	3,251	3,270	3,270	-	+18
連結経常利益	1,905	△236	△2,142	3,155	2,350	1,150	△1,200	△2,005
損保ジャパン	878	△500	△1,378	2,108	1,875	990	△885	△1,118
海外グループ会社※1	498	451	△46	861	1,245	1,038	△206	+177
ひまわり生命	145	△46	△192	232	158	△39	△198	△272
SOMPOケア	39	37	△2	93	89	80	△8	△12
その他・連結調整等※1※2	343	△178	△522	△140	△1,018	△920	+97	△779
連結純利益	1,307	△200	△1,507	2,248	1,600	800	△800	△1,448
損保ジャパン	641	△343	△984	1,662	1,450	840	△610	△822
海外グループ会社※1	370	327	△42	643	952	810	△142	+167
ひまわり生命	100	△37	△138	159	105	△37	△142	△197
SOMPOケア	25	25	+0	59	55	55	△0	△3
その他・連結調整等※1※2	169	△172	△342	△275	△963	△868	+95	△592
(参考) 修正連結利益	1,487	508	△978	2,613	2,600	1,600	△1,000	△1,013
国内損保事業	916	△95	△1,011	1,574	1,200	350	△850	△1,224
海外保険事業	351	510	+158	618	1,000	1,000	-	+381
国内生保事業	185	55	△130	336	350	180	△170	△156
介護・シニア事業	25	28	+2	59	60	60	-	+0
デジタル事業等	8	10	+2	24	10	10	-	△14

※1 SIにかかる会計基準差異の修正影響を調整

(億円)	2021年度中間期	2022年度中間期	2021年度 (実績)	2022年度 (今回予想)
税前	127	1,211	301	1,878
税後	106	1,016	255	1,575

※2 のれんの償却 (2022年度中間期：136億円)、パーチェス修正 (同：税前22億円、税後16億円) 等を含む

(参考) 経営数値目標

計画数値

(単位：億円)	2022年度中間期		2022年度		2023年度	
	(実績)	(対前年増減)	(今回予想)	(事業別ROE) ※4	(計画)	(事業別ROE)
国内損保事業	△95	△1,011	350	2.5%	1,500以上	11.4%
海外保険事業	510	+158	1,000	9.6%	1,000以上	11.6%
国内生保事業	55	△130	180	2.5%	400以上	5.7%
介護・シニア事業	28	+2	60	10.3%	80以上	14.3%
デジタル事業等	10	+2	10	-	20以上	-
合計 (修正連結利益)	508	△978	1,600	-	3,000以上	-
修正連結ROE※3	-	-	5.8%	-	10%以上	-
ROE (J-GAAPベース)	-	-	4.1%	-	-	-

修正連結利益※1の定義

国内損保事業	
当期純利益 + 異常危険準備金繰入額等 (税引後) + 価格変動準備金繰入額 (税引後) - 有価証券の売却損益・評価損 (税引後)	
海外保険事業	
Operating Income※2 なお、持分法適用関連会社は、原則当期純利益	
国内生保事業	
当期純利益 + 危険準備金繰入額 (税引後) + 価格変動準備金繰入額 (税引後) + 責任準備金補正 (税引後) + 新契約費繰延 (税引後) - 新契約費償却 (税引後) - 有価証券の売却損益・評価損 (税引後)	
介護・シニア事業	その他事業
当期純利益	
デジタル事業	
当期純利益 - 投資に関する売却損益・評価損 (税引後)	

※1 事業部門別修正利益は、一過性の損益またはグループ会社配当等の特殊要因を除く

※2 一過性の変動要素を除いたOperating Income (= 当期純利益 - 為替損益 - 有価証券売却・評価損益 - 減損損失など)

※3 修正連結ROE = 修正連結利益 ÷ 修正連結純資産 (分母は、期首・期末の平均残高)

修正連結純資産 = 連結純資産 (除く国内生保事業純資産) + 国内損保事業異常危険準備金等 (税引後) + 国内損保事業価格変動準備金 (税引後) + 国内生保事業修正純資産

国内生保事業修正純資産 = 国内生保事業純資産 (J-GAAP) + 危険準備金 (税引後) + 価格変動準備金 (税引後) + 責任準備金補正 (税引後) + 未償却新契約費 (税引後)

※4 事業別ROE = 事業部門別修正利益 ÷ 各事業への配賦資本 (事業に属する会社の連結純資産合計またはリスクモデルに基づく必要資本。期首・期末の平均)

事業別ROEは、各事業特性を踏まえ異なる定義で各々設定しているため、事業間比較には適さず、各事業の進捗モニタリングを通じて修正連結ROEおよび各事業別ROE目標値の達成確度を高めることを目的に導入

事業別詳細

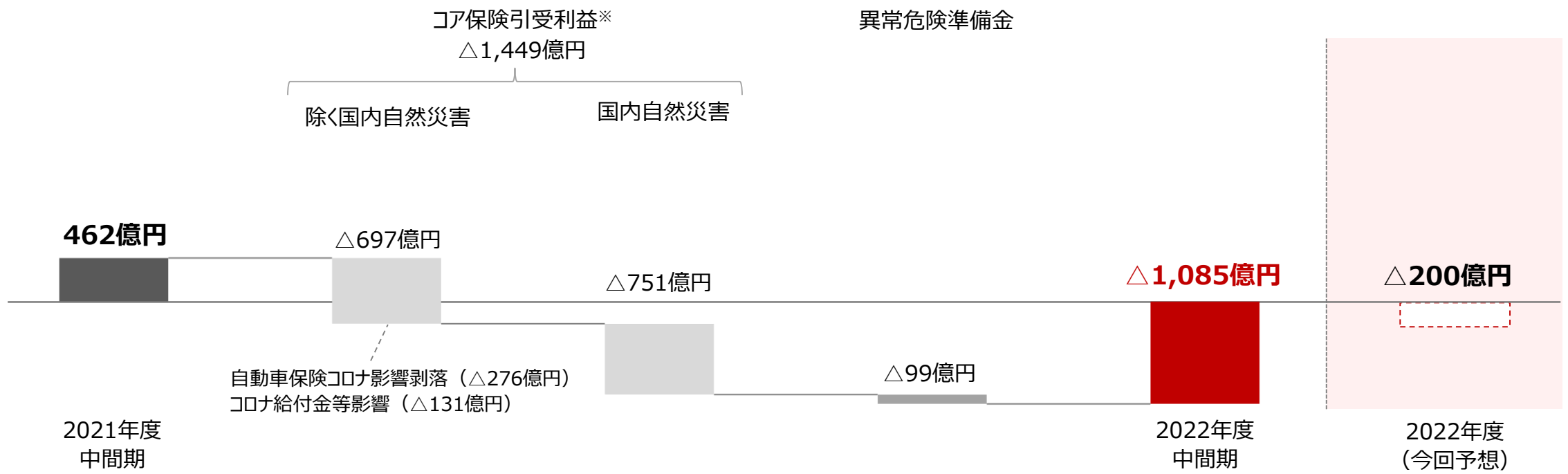
タイトル	ページ
国内損保事業（損保ジャパン）	13
海外保険事業	27
国内生保事業	37
介護・シニア事業	43
ERM	46



保険引受利益（損保ジャパン）

- 自然災害のほか、自動車保険や傷害保険における新型コロナ影響を主因に、2022年度中間期の保険引受利益は△1,085億円
- 2022年度通期（今回予想）の保険引受利益には、中間期実績を踏まえつつ、下期の雪害影響等も織り込む

保険引受利益の増減要因



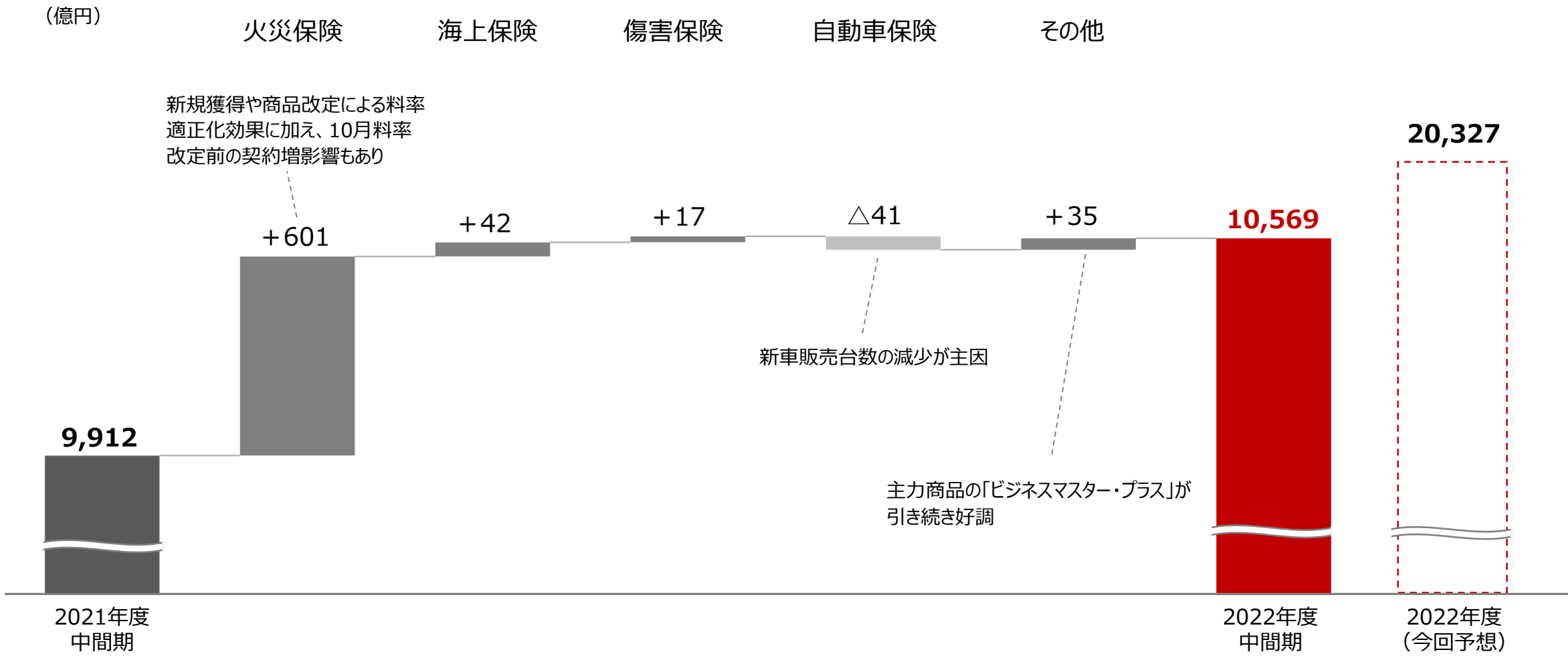
	コア保険引受利益			異常危険準備金	保険引受利益
		(除く国内自然災害)	(国内自然災害)		
2021年度中間期	809億円	1,074億円	△265億円	△346億円	462億円
2022年度中間期	△639億円	377億円	△1,016億円	△445億円	△1,085億円

※ 保険引受利益から異常危険準備金に係る影響を除いたもの

正味収入保険料（損保ジャパン）

- 引き続き火災保険・新種保険が好調、2022年度中間期の正味収入保険料は+656億円（+6.6%）増収
- 火災保険中心に、2022年度通期（今回予想）の正味収入保険料を増額修正（期初予想比+450億円、+2.3%）

正味収入保険料（除く自賠責・家計地震）の増減要因



(参考) 正味収入保険料 (損保ジャパン)

	概要		事業別詳細		
グループ	国内損保	海外保険	国内生保	介護・シニア	ERM



種目別正味収入保険料

(単位：億円)

	2021年度 中間期	2022年度 中間期	増減		2022年度 (今回予想)
火災	1,587	2,188	+600	(+37.9%)	4,047
海上	255	297	+42	(+16.8%)	536
傷害	831	849	+17	(+2.2%)	1,548
自動車	5,427	5,386	△41	(△0.8%)	10,809
自賠責	1,142	1,050	△92	(△8.1%)	2,070
その他	1,812	1,848	+35	(+2.0%)	3,386
うち賠償責任	946	951	+4	(+0.5%)	1,618
合計	11,057	11,620	+563	(+5.1%)	22,400
合計 (除く自賠責・家計地震)	9,912	10,569	+656	(+6.6%)	20,327

(参考) 自動車保険の台数・単価・保険料
前年同期比 (2022年4月～2022年9月)

(営業成績保険料ベース)

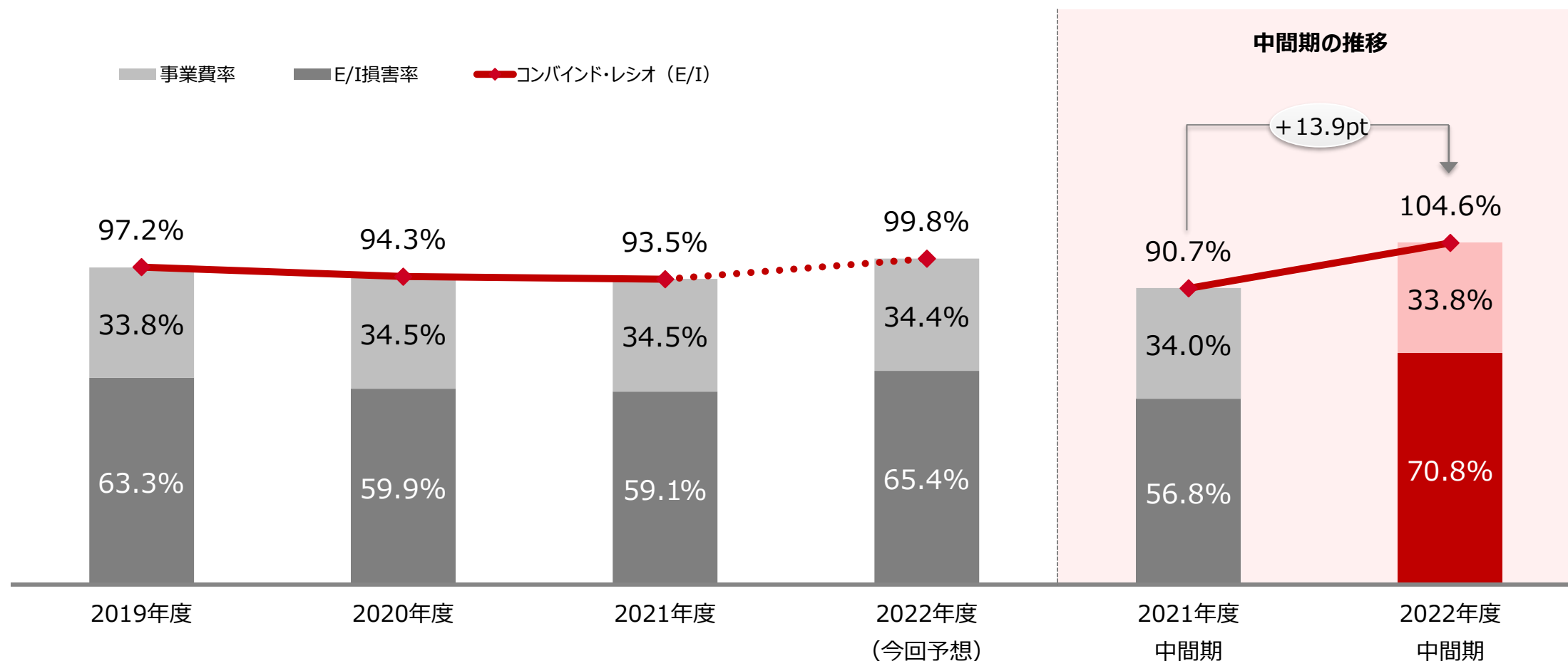
	台数※	単価	保険料
ノンフリート	△0.4%	+0.2%	△0.2%
フリート	+0.2%	△4.0%	△3.8%
合計	△0.2%	△0.5%	△0.8%

※ 時間単位型自動車保険 乗るピタ! を除く

コンバインド・レシオ（損保ジャパン）

- 2022年度中間期のコンバインド・レシオは104.6%
- 中間期の損害率上昇を踏まえ、2022年度通期（今回予想）のコンバインド・レシオを99.8%と見込む

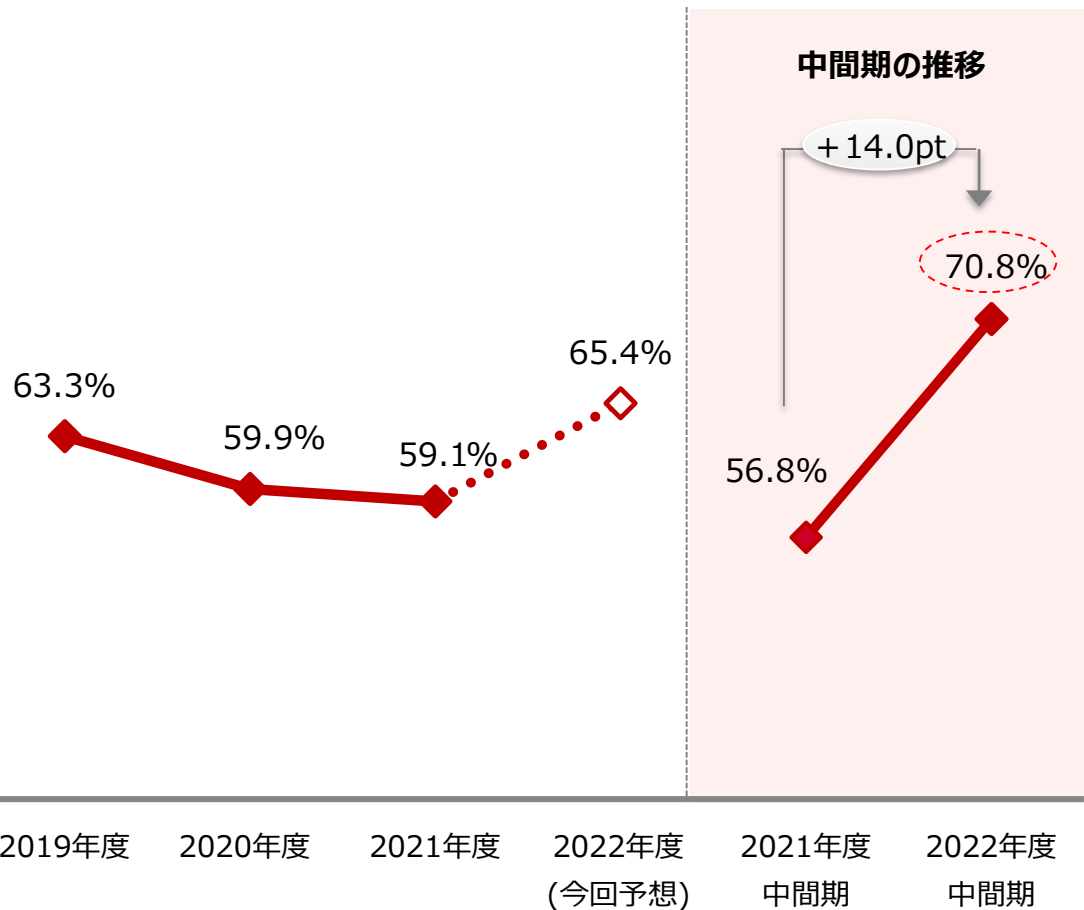
コンバインド・レシオ（E/I）（除く自賠責・家計地震）



損害率（損保ジャパン）

- 自然災害影響（+7.6pt）、新型コロナ影響（+4.2pt）を受けて、2022年度中間期のE/I損害率は70.8%
- 下期にかけての雪害影響として200億円程度を織り込みつつ、2022年度通期（今回予想）のE/I損害率は65.4%と見込む

E/I損害率（除く自賠責・家計地震）の推移



※ 2022年度中間期の外貨建支払備金の為替影響（繰入額）+71億円（+0.7pt）

種目別E/I損害率

	2022年度中間期		2022年度（今回予想）
	損害率	増減	損害率
火災（除く家計地震）	110.4%	+39.7pt	82.1%
海上	41.2%	△18.0pt	61.9%
傷害	68.2%	+18.0pt	62.4%
自動車	61.9%	+7.7pt	61.2%
その他	63.6%	+8.8pt	62.5%
合計（除く自賠責・家計地震）	70.8%	+14.0pt	65.4%

（主な増減要因） 火災：自然災害影響（+31.1pt） 傷害：新型コロナ関連の支払い影響（+13.9pt）
自動車：新型コロナ影響の一部剥落（交通量増加）および自然災害影響（+3.2pt）

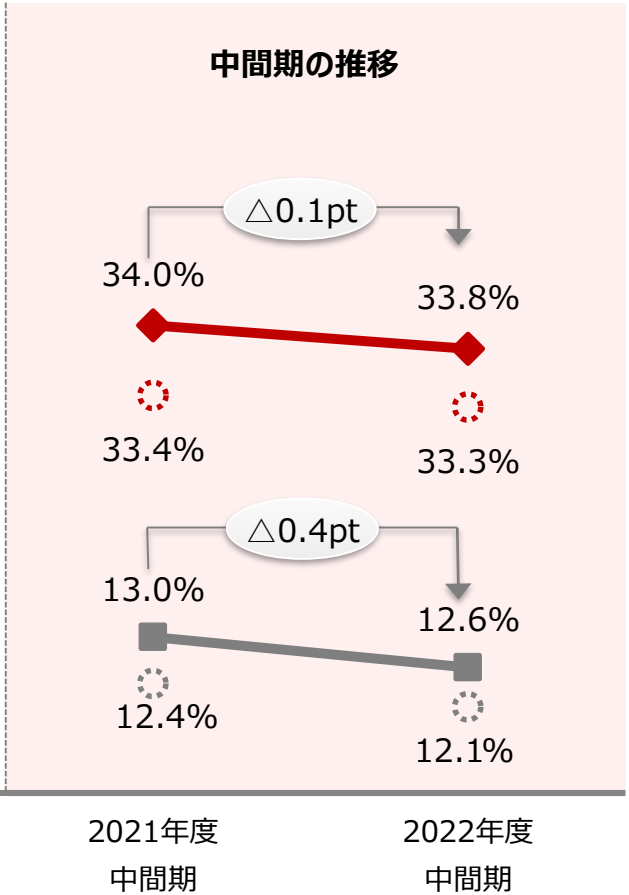
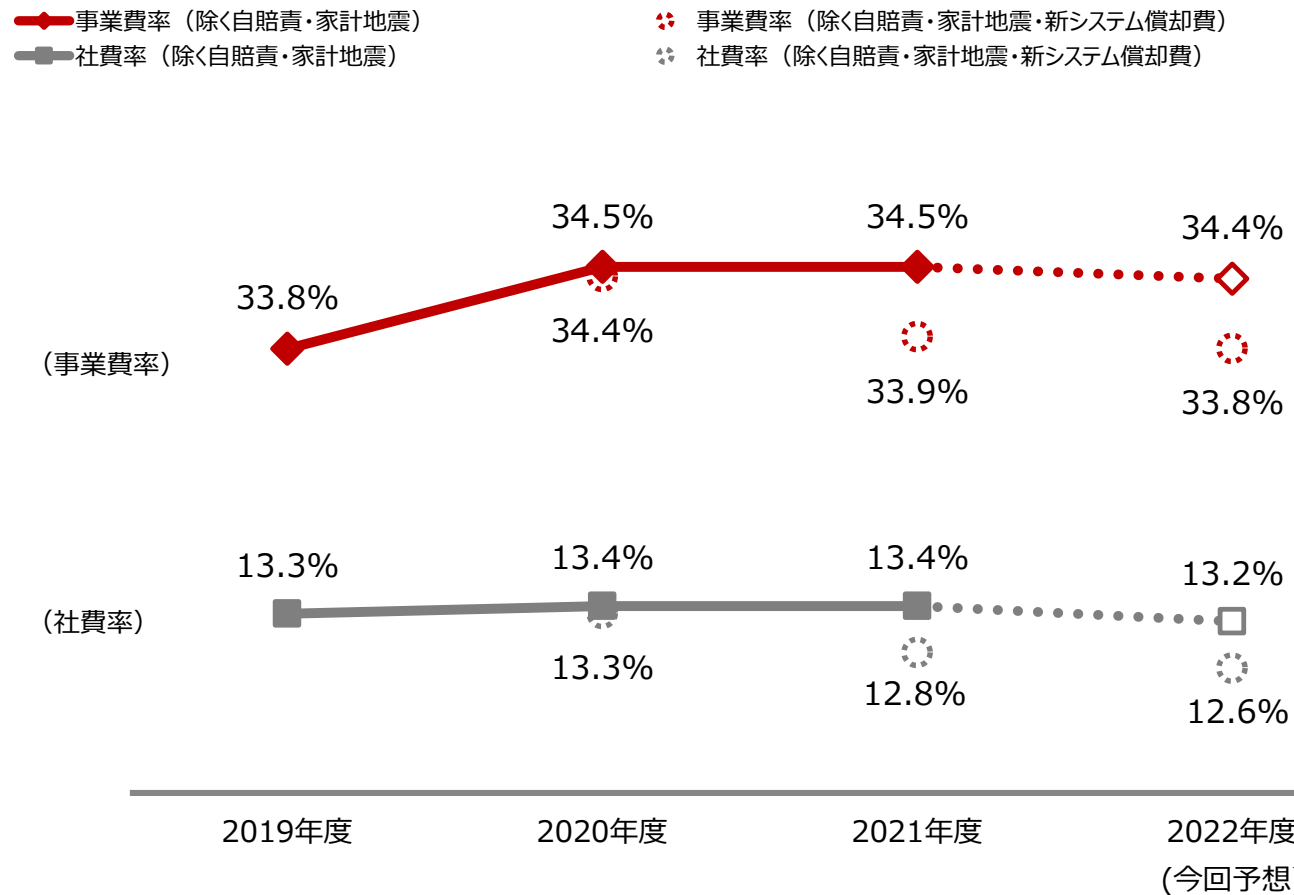
（参考）種目別W/P損害率

	2022年度中間期		2022年度（今回予想）
	損害率	増減	損害率
火災（除く家計地震）	59.9%	△13.4pt	69.8%
海上	35.7%	△12.0pt	53.3%
傷害	55.3%	+9.9pt	59.8%
自動車	57.8%	+3.2pt	59.3%
その他	51.6%	+2.8pt	59.4%
合計（除く自賠責・家計地震）	56.3%	+0.7pt	61.3%

事業費率（損保ジャパン）

- 2022年度中間期は、事業費率および社費率とも計画対比で良好に推移
- 2022年度通期（今回予想）の社費率は、さらなる改善（期初予想比△0.2pt）を見込む

事業費率・社費率※（除く自賠責・家計地震）の推移

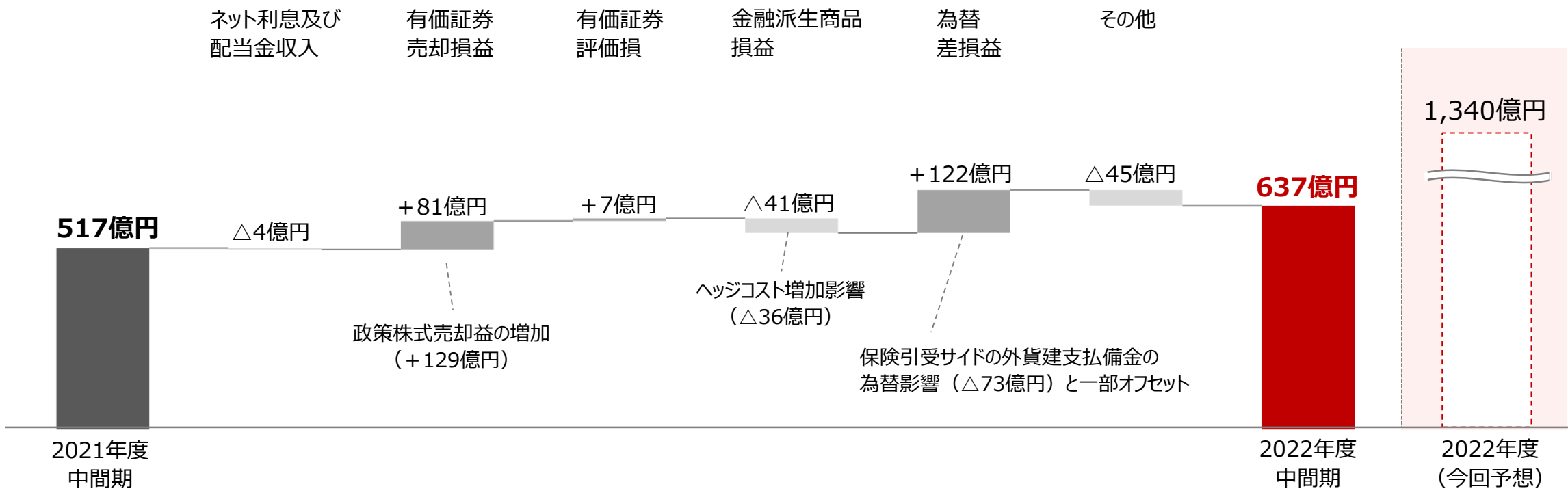


※ 保険引受に係る営業費および一般管理費の正味収入保険料に対する比率

資産運用損益（損保ジャパン）

- 政策株式削減は順調、これに伴う有価証券売却益の増加などにより、2022年度中間期の資産運用利益は+119億円増益
- 国内株式配当金の上振れなども踏まえ、通期では増額修正（期初予想比+73億円）

資産運用損益の増減要因



	ネット利息及び配当金収入	有価証券売却損益	有価証券評価損	金融派生商品損益	為替差損益	その他	資産運用損益
2021年度中間期	473億円	39億円	△21億円	△0億円	10億円	16億円	517億円
2022年度中間期	468億円	120億円	△13億円	△42億円	132億円	△28億円	637億円

(参考) 自動車保険関連の指標 (損保ジャパン)

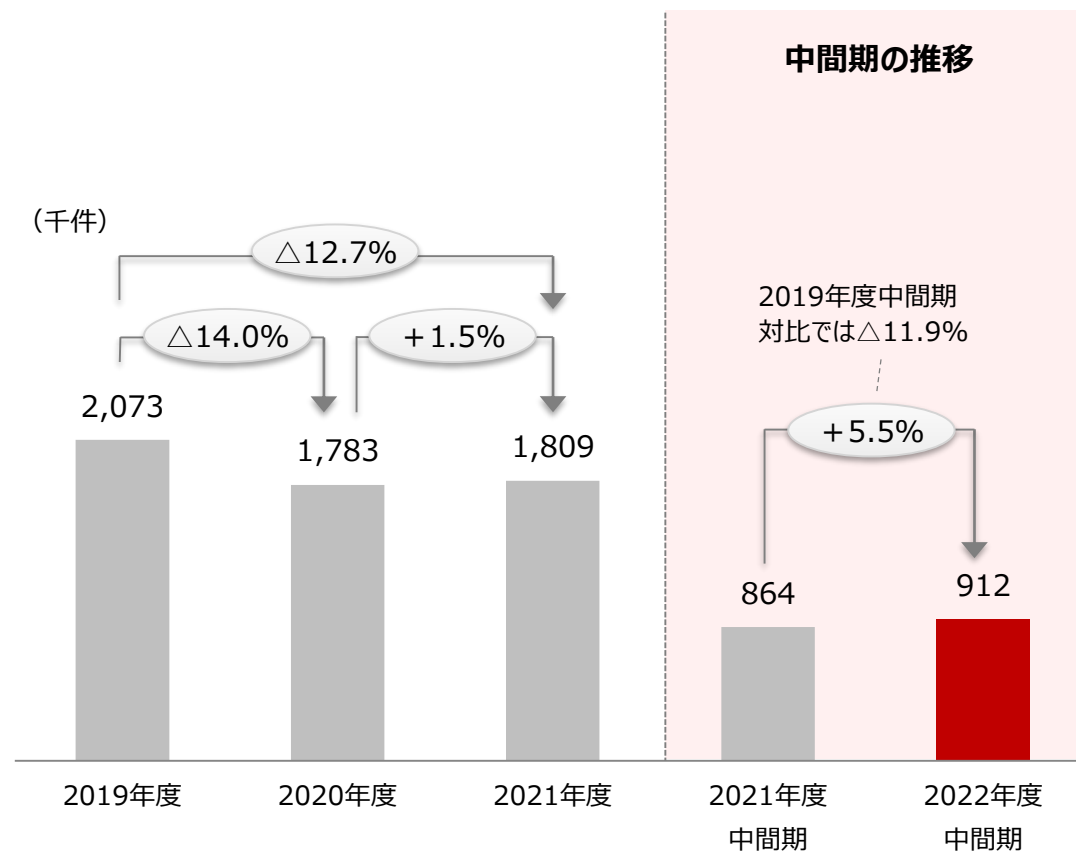
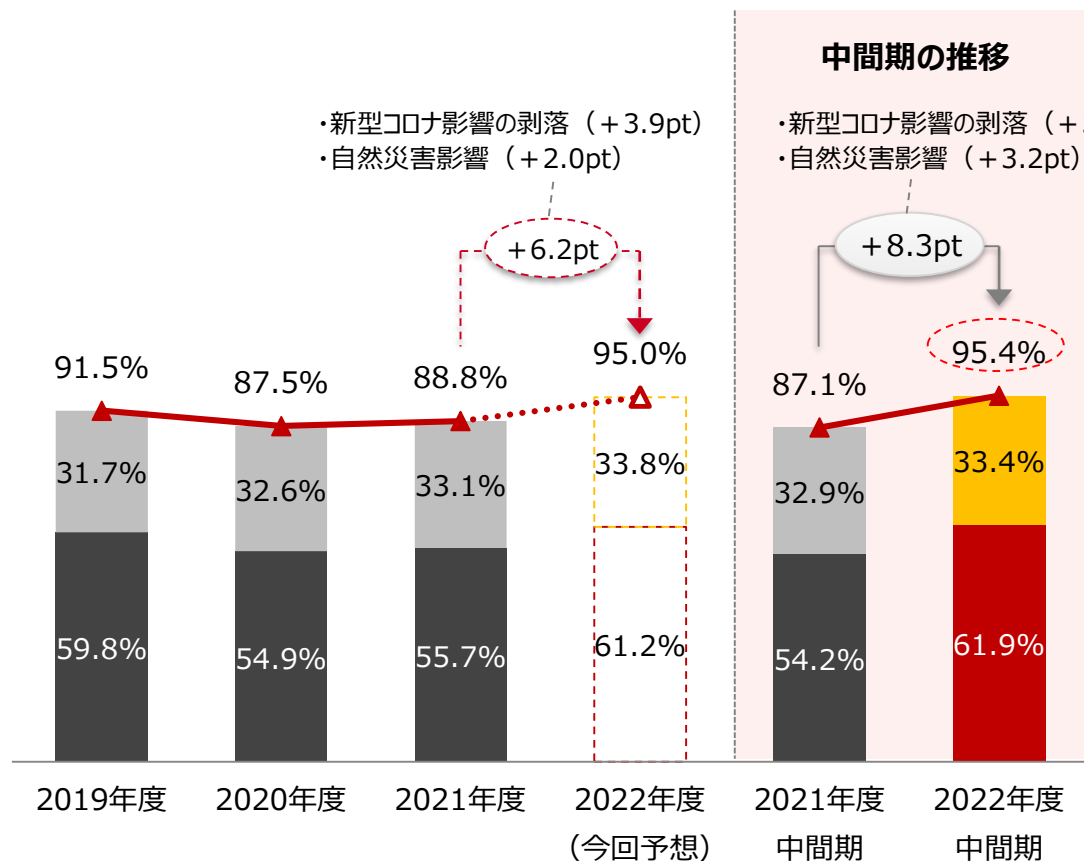
概要		事業別詳細			
グループ	国内損保	海外保険	国内生保	介護・シニア	ERM



コンバインド・レシオ (E/I) の推移

事故受付件数※2の推移

■ 損害率※1 ■ 事業費率 ▲ コンバインド・レシオ (E/I)



※1 損害率はE/Iベース (含む損調費)

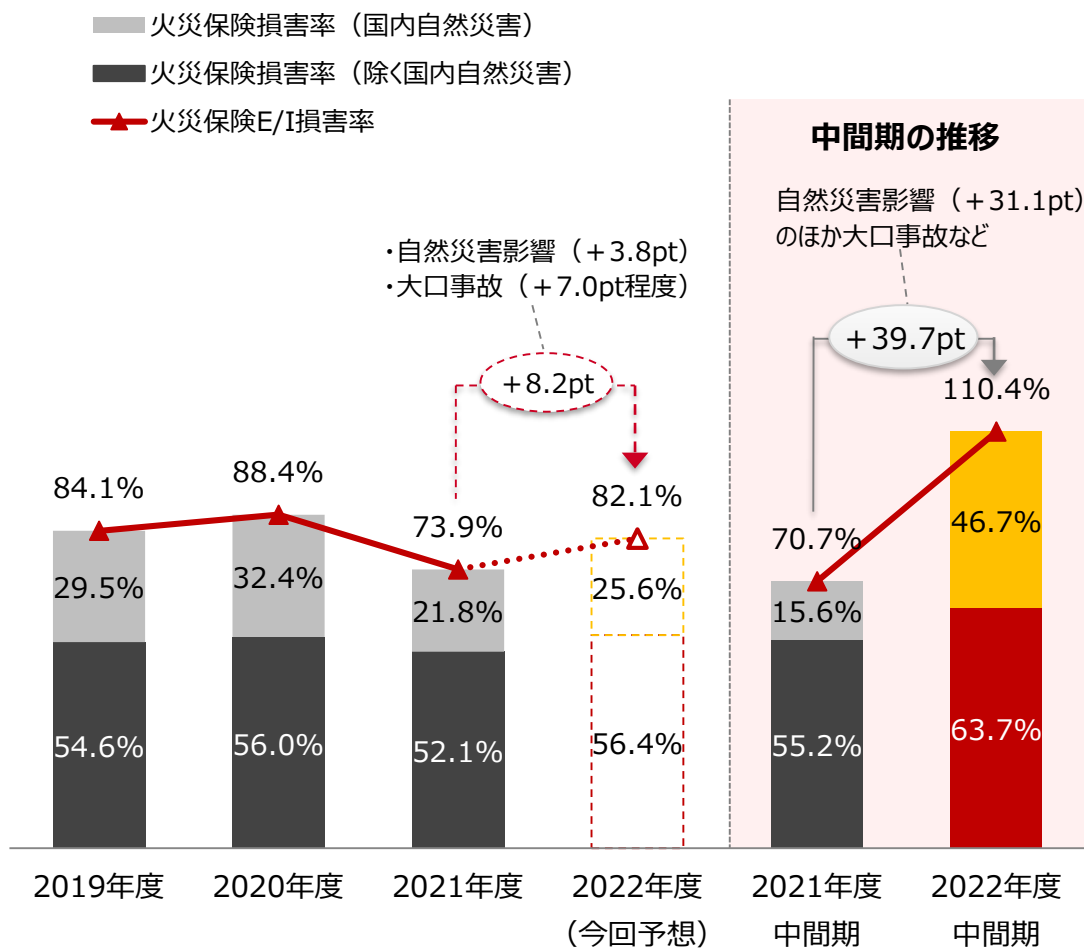
※2 除く自然災害ベース

(参考) 火災保険、新種保険関連の指標 (損保ジャパン)

	概要		事業別詳細		
グループ	国内損保	海外保険	国内生保	介護・シニア	ERM

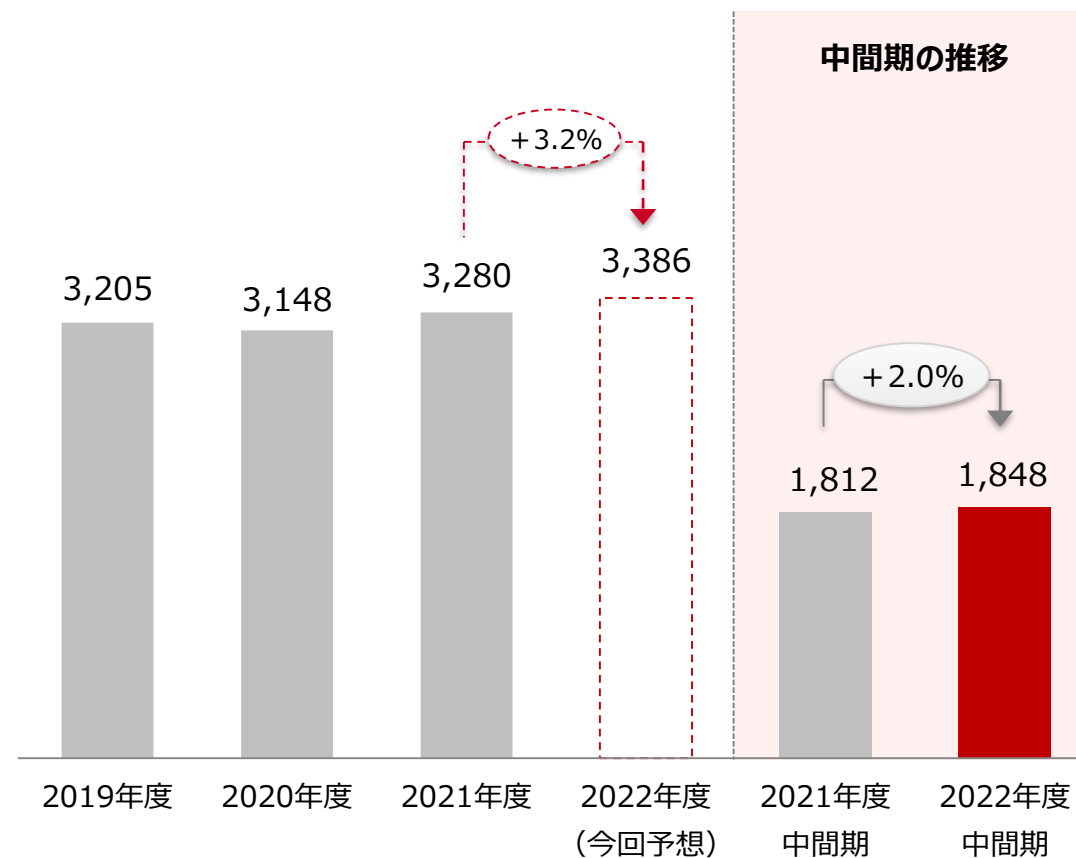


火災保険※のE/I損害率の推移



新種保険正味収入保険料の推移

(億円)

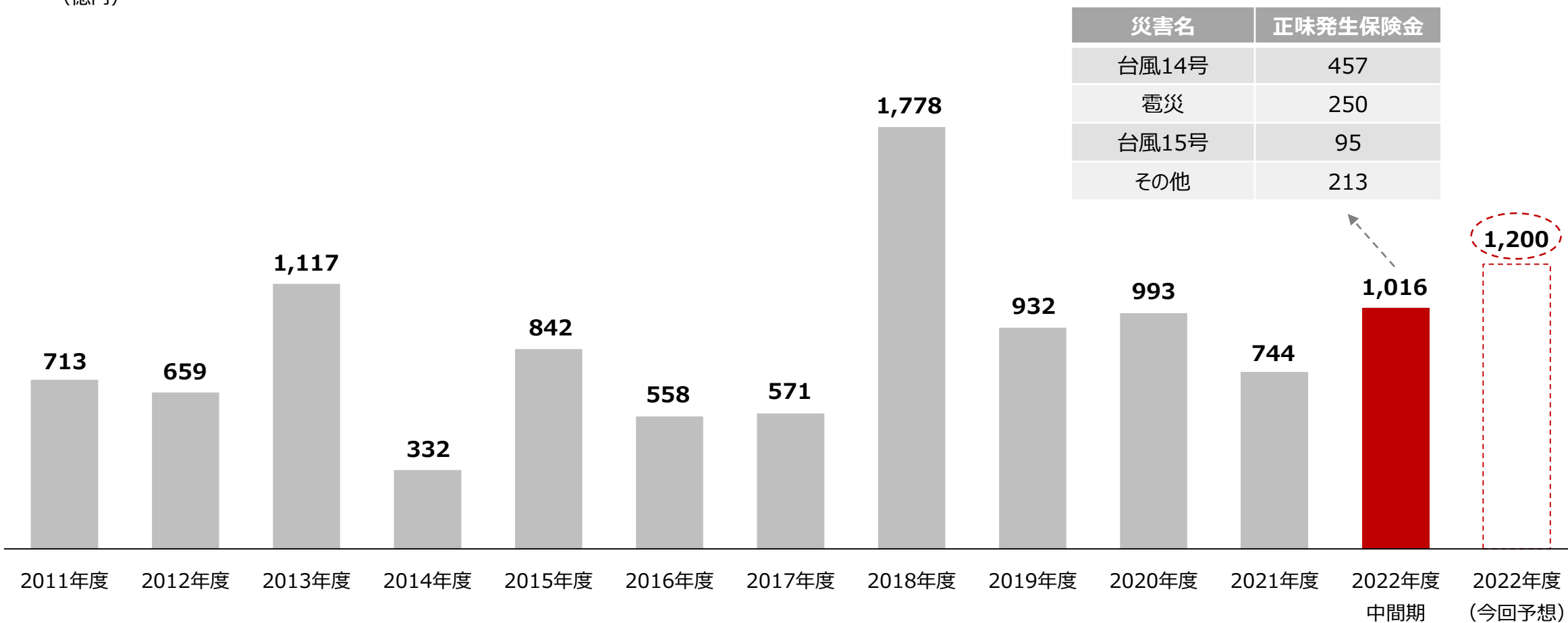


※ 除く家計地震

(参考) 国内自然災害 (損保ジャパン)

国内自然災害の正味発生損害 (当年度発生) ※

(億円)



※ 除く自賠責・家計地震

(参考) 資産運用損益内訳 (損保ジャパン)

	概要		事業別詳細		
グループ	国内損保	海外保険	国内生保	介護・シニア	ERM



資産運用損益

(単位：億円)	2021年度 中間期	2022年度 中間期	増減	2022年度 (今回予想)
ネット利息及び配当金収入	473	468	△4	1,274
利息及び配当金収入	625	613	△12	1,561
(うち海外子会社配当金)	0	6	+5	497
有価証券売却損益	39	120	+81	194
(うち国内株式)	30	160	+129	320
有価証券評価損	△21	△13	+7	△73
(うち国内株式)	△21	△13	+7	△33
金融派生商品損益	△0	△42	△41	△157
為替差損益	10	132	+122	129
その他損益	16	△28	△45	△26
資産運用損益	517	637	+119	1,340

(参考) 政策株式削減額

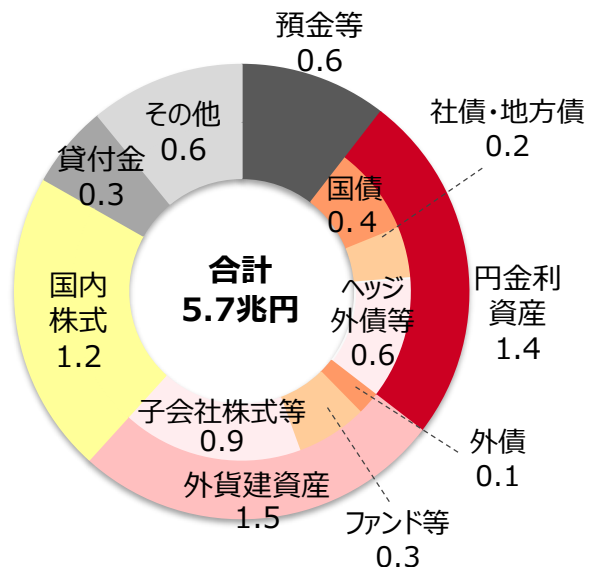
現物 ^{※1}	256億円
先物 ^{※2}	37億円
合計	294億円

※1 時価ベースのネット削減額
(売却時価－購入時価)
2022年度削減目標額は500億円
※2 日経平均先物の売建て

(参考) 資産ポートフォリオ (損保ジャパン)

資産ポートフォリオ (2022年9月末、一般勘定)

(兆円)



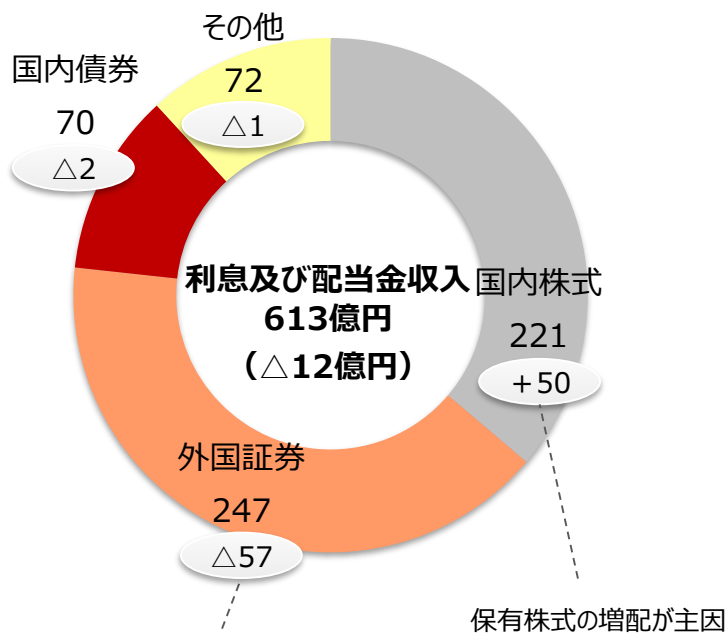
	2022年3月末	2022年9月末
インカム利回り*	3.0%	3.0%
デュレーション	資産	7.9年
	負債	7.6年
		8.0年

※ 海外グループ会社株式等を除く

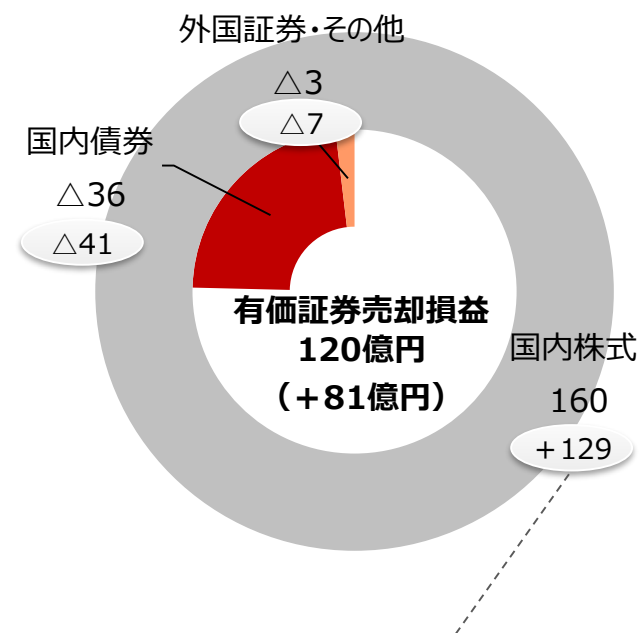
(参考) 円金利資産、外貨建債券の格付構成：BB格以下の保有なし

利息及び配当金収入・有価証券売却損益の内訳 (2022年度中間期)

(億円)



前年度のファンド解約などに伴う
利配の剥落が主因



政策株式 (現物) 削減増加
(対前年+197億円) が主因

○ : 2021年度中間期対比の増減額

(参考) 決算数値 (損保ジャパン)

(単位：億円)	中間期業績			通期業績予想				対前年 増減 (C-A)
	2021年度 中間期	2022年度 中間期	増減	2021年度 実績 (A)	期初予想 (B)	2022年度 今回予想 (C)	増減 (C-B)	
正味収入保険料	11,057	11,620	+563	21,587	22,040	22,400	+360	+812
(除く自賠責・家計地震)	9,912	10,569	+656	19,417	19,876	20,327	+450	+910
既経過保険料 (除く自賠責・家計地震)	9,575	9,820	+244	19,377	19,808	19,943	+134	+565
E/I損害率 (除く自賠責・家計地震)	56.8%	70.8%	+14.0pt	59.1%	59.3%	65.4%	+6.1pt	+6.3pt
正味損害率	57.8%	58.2%	+0.4pt	59.8%	61.3%	63.5%	+2.3pt	+3.8pt
(除く自賠責・家計地震)	55.6%	56.3%	+0.7pt	57.4%	59.1%	61.3%	+2.2pt	+3.9pt
正味事業費率	33.5%	33.5%	△0.0pt	33.7%	33.8%	33.8%	+0.1pt	+0.1pt
(除く自賠責・家計地震)	34.0%	33.8%	△0.1pt	34.5%	34.4%	34.4%	△0.0pt	△0.0pt
コンバインド・レシオ (E/I) ※1 (除く自賠責・家計地震)	90.7%	104.6%	+13.9pt	93.5%	93.7%	99.8%	+6.1pt	+6.3pt
(参考) コンバインド・レシオ (W/P) (除く自賠責・家計地震)	89.6%	90.2%	+0.6pt	91.9%	93.5%	95.7%	+2.2pt	+3.8pt
保険引受利益	462	△1,085	△1,548	630	790	△200	△990	△830
資産運用利益	517	637	+119	1,633	1,267	1,340	+73	△292
経常利益	878	△500	△1,378	2,108	1,875	990	△885	△1,118
当期純利益	641	△343	△984	1,662	1,450	840	△610	△822
異常危険準備金繰入額等 (税引後)	+251	+324	+73	+418	+310	+44	△265	△373
価格変動準備金繰入額 (税引後)	+14	+15	+0	+30	+29	+29	-	△0
有価証券売却損益・評価損 (税引後)	△8	△73	△64	△258	△101	△66	+35	+192
特殊要因 (税引後) ※2	+31	△14	△45	△289	△478	△493	△14	△203
修正利益	929	△91	△1,021	1,562	1,210	355	△855	△1,207

※1 E/I損害率+正味事業費率

※2 グループ会社配当、株式先物関連損益等

事業別詳細

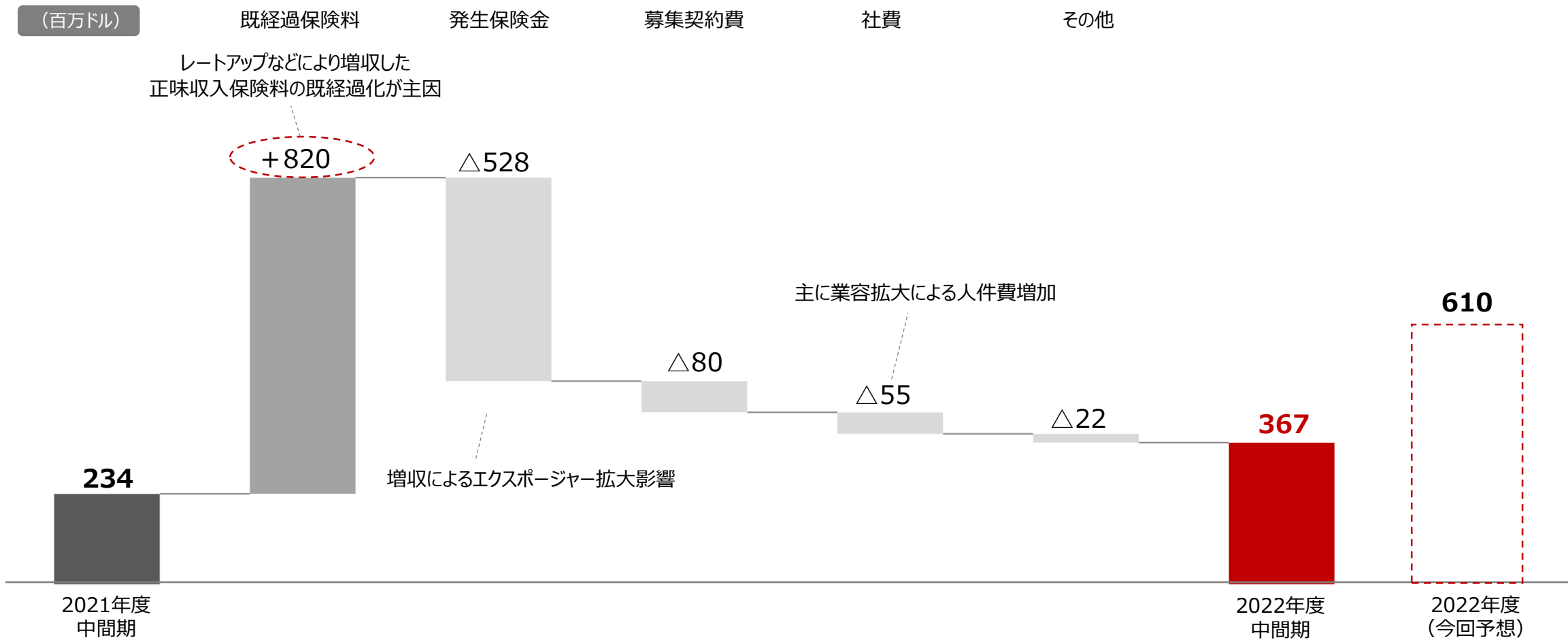
タイトル	ページ
国内損保事業（損保ジャパン）	13
海外保険事業	27
国内生保事業	37
介護・シニア事業	43
ERM	46



保険引受利益 (SIコマーシャル)

- トップラインの大幅増収により、2022年度中間期の保険引受利益は+57%増益の367百万ドル
- 2022年度通期（今回予想）の保険引受利益は、ハリケーン・イアンの影響を織り込むも、対前年+43%の高増益率を維持

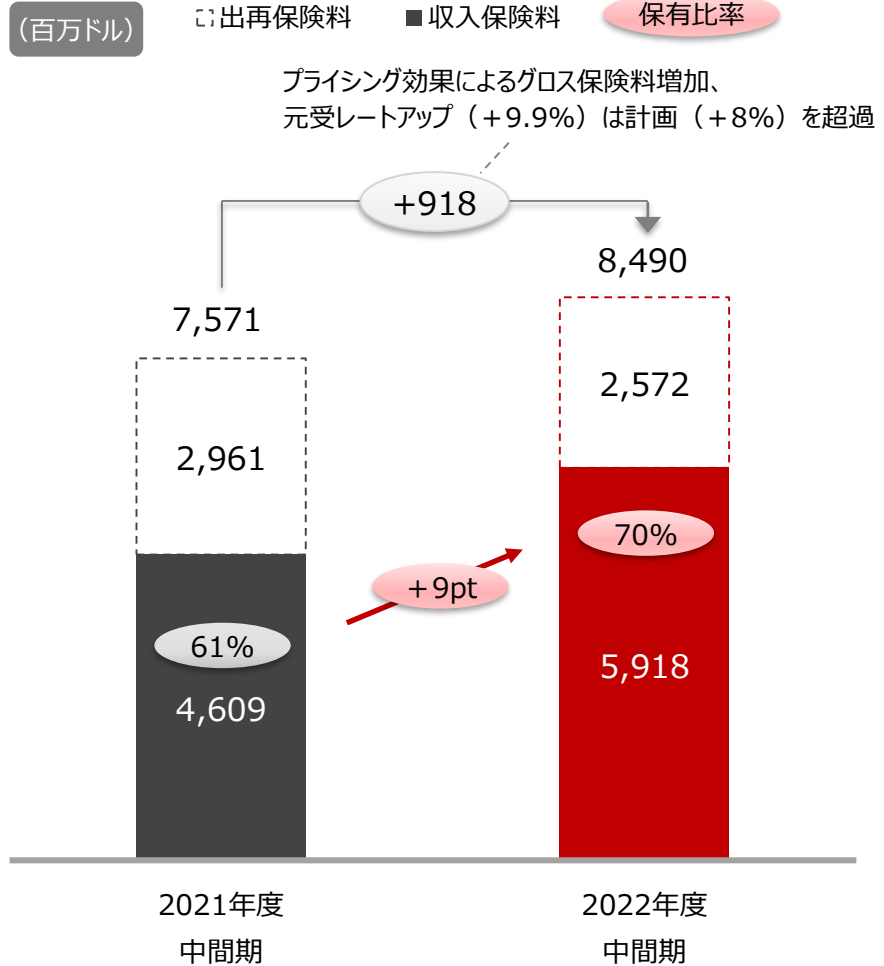
保険引受利益の増減要因



収入保険料 (SIコマーシャル)

- 2022年度中間期の正味収入保険料は+28.4%増収の5,918百万ドル、プライシング効果や農業保険の保有増加が主因
- 再保険のカジュアルティライン、農業保険を中心に、2022年度通期（今回予想）の正味収入保険料を増額修正（期初予想比+6.0%）

グロス保険料



(参考) セグメント別トップライン (単位：百万ドル)		2022年度 中間期	対前年増減	2022年度 今回予想
グロス保険料	元受保険（除く農業）	2,955	+156（+5.6%）	-
	農業保険	2,187	+368（+20.3%）	-
	再保険	3,347	+393（+13.3%）	-
	合計	8,490	+918（+12.1%）	13,465
正味収入保険料	元受保険（除く農業）	1,557	+152（+10.8%）	-
	農業保険	1,271	+703（+124.0%）	-
	再保険	3,061	+425（+16.1%）	-
	合計	5,918	+1,308（+28.4%）	8,993
既経過保険料	元受保険（除く農業）	1,568	+340（+27.7%）	-
	農業保険	631	+313（+98.4%）	-
	再保険	1,752	+151（+9.5%）	-
	合計	3,967	+820（+26.1%）	8,437
保有比率	元受保険（除く農業）	53%	+2pt	-
	農業保険	58%	+27pt	-
	再保険	91%	+2pt	-
	合計	71%	+9pt	67%

(主な増減要因)

元受保険（除く農業）：概ね全種目で継続的なレートアップを実現

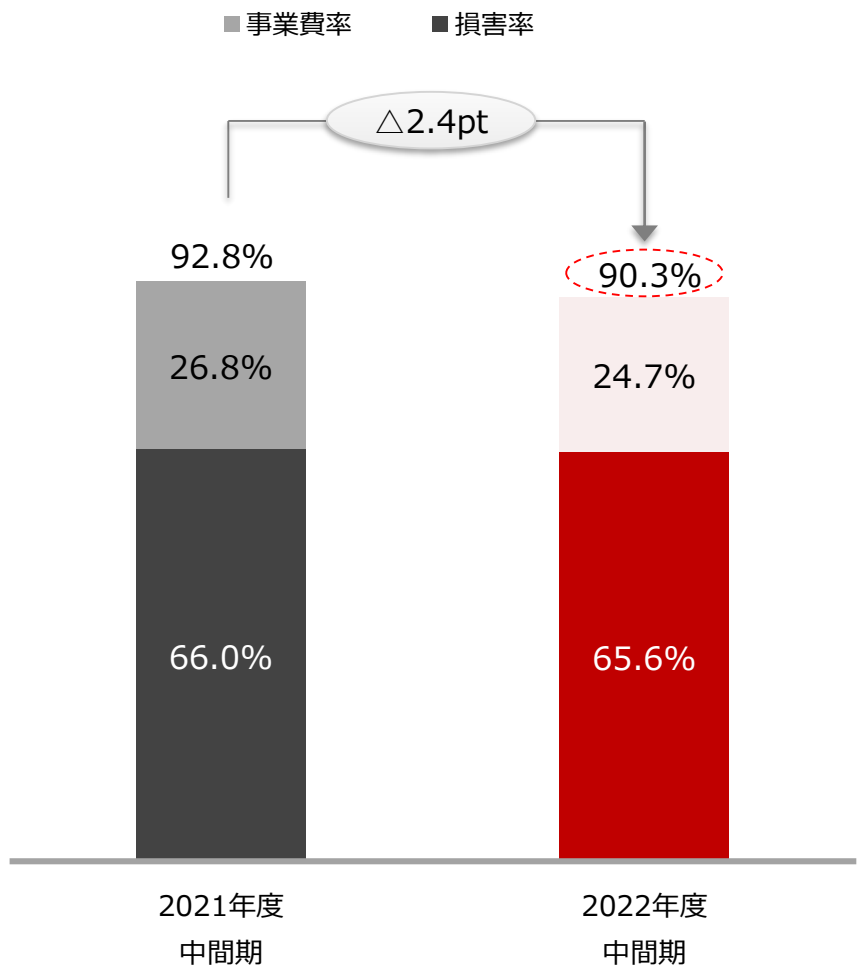
農業保険：作物価格上昇影響および旧ダイバーシファイド社契約の保有比率引き上げ

再保険：カジュアルティ分野（企業賠償責任保険等）での増収

コンバインド・レシオ (SIコマーシャル)

- 増収効果を背景に、2022年度中間期のコンバインド・レシオは2.4pt改善の90.3%
- ハリケーン・イアンの影響 (+4.6pt) を踏まえ、2022年度通期 (今回予想) のコンバインド・レシオを調整

コンバインド・レシオ



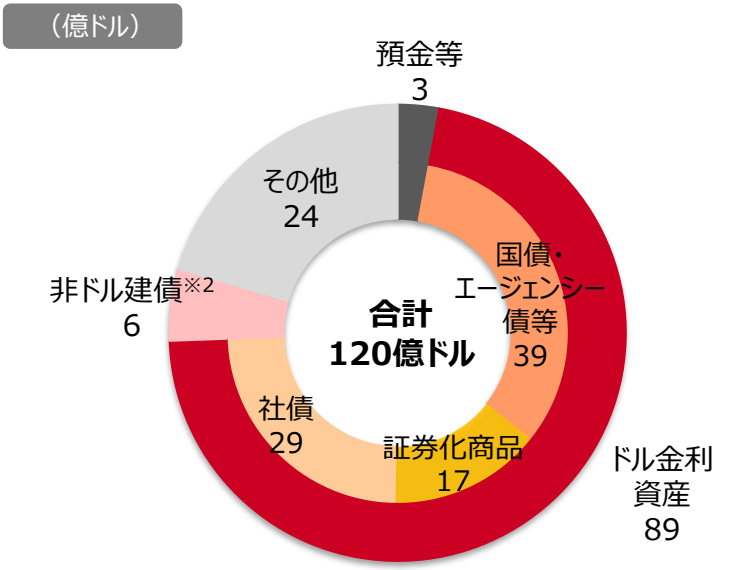
(参考) セグメント別コンバインド・レシオ		2022年度 中間期	対前年増減	2022年度 今回予想
損害率	元受保険 (除く農業)	66.8%	△1.5pt	-
	農業保険	82.5%	△4.9pt	-
	再保険	58.6%	△1.3pt	-
	合計	65.6%	△0.3pt	69.5%
事業費率	元受保険 (除く農業)	22.1%	+0.0pt	-
	農業保険	7.7%	△10.5pt	-
	再保険	29.9%	+0.1pt	-
	合計	24.7%	△2.1pt	23.3%
コンバインド・レシオ	元受保険 (除く農業)	88.9%	△1.5pt	-
	農業保険	90.2%	△15.4pt	-
	再保険	88.5%	△1.3pt	-
	合計	90.3%	△2.4pt	92.8%

(主な増減要因)
 元受保険 (除く農業) : 増収効果や自然災害減少
 農業保険 : ダイバーシファイド社統合後の社費削減、および昨年度備金のリリース (△3.1pt)
 再保険 : プライシング効果および自然災害減少
 ※ 中間期の自然災害発生損害は53百万ドル (対前年△108百万ドル : △3.8pt)

資産ポートフォリオ・資産運用損益（SIコマーシャル）

- 前年度の収益剥落はあるものの、運用資産額増加による利配収入増などがオフセットし、中間期の資産運用損益は対前年同水準
- 米国金利上昇による再投資利回り増を主因に、2022年度通期の資産運用損益（今回予想）は355百万ドルを見込む

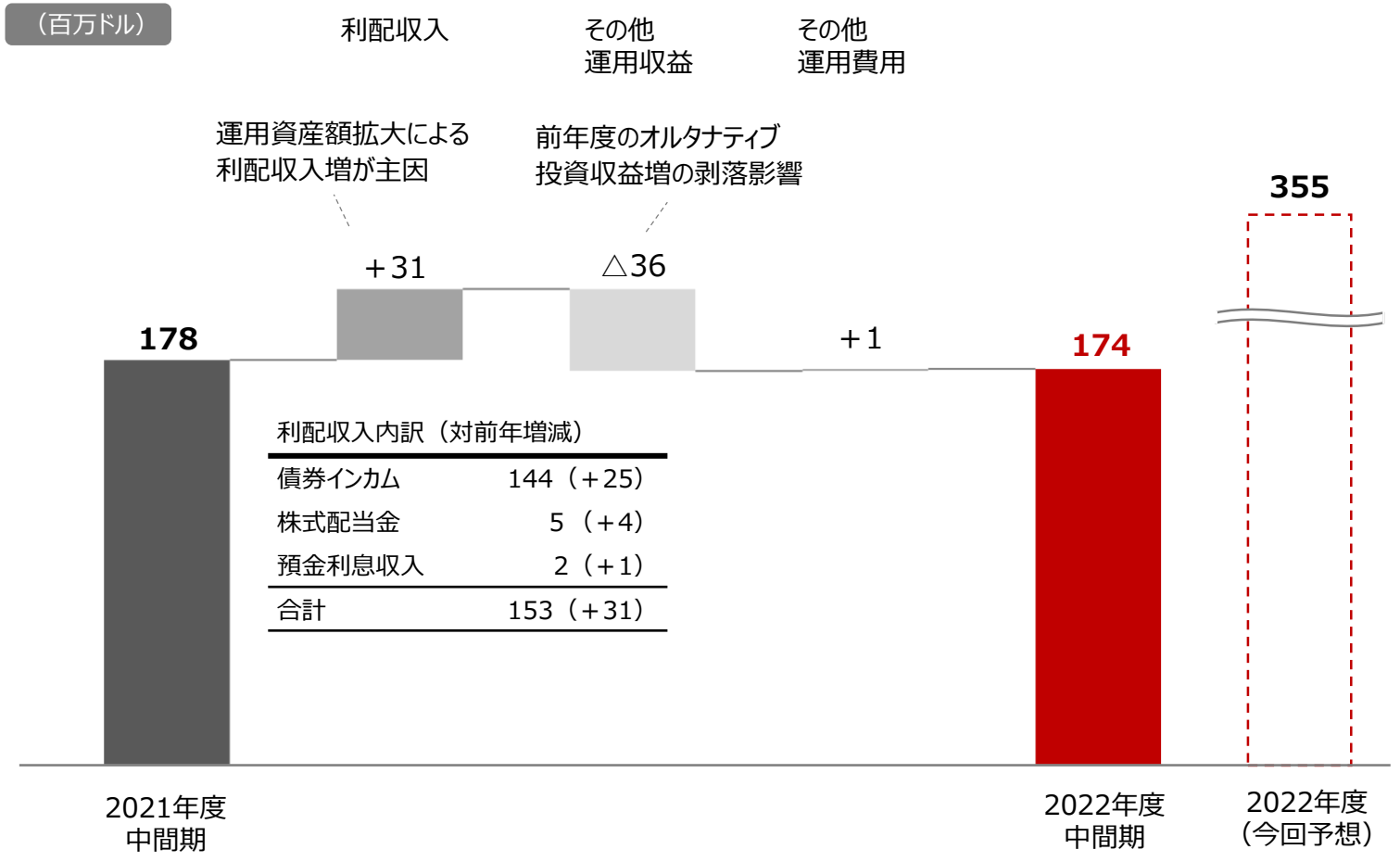
資産ポートフォリオ※1（2022年6月末）



	2021年 12月末	2022年 6月末
債券簿価利回り	2.1%	2.5%
デュレーション	資産	3.1年
	負債	3.1年
	2.8年	

※1 債券資産の格付構成：BB格以下は全体の10%
 ※2 一部預金含む

資産運用損益の内訳（2022年度中間期）



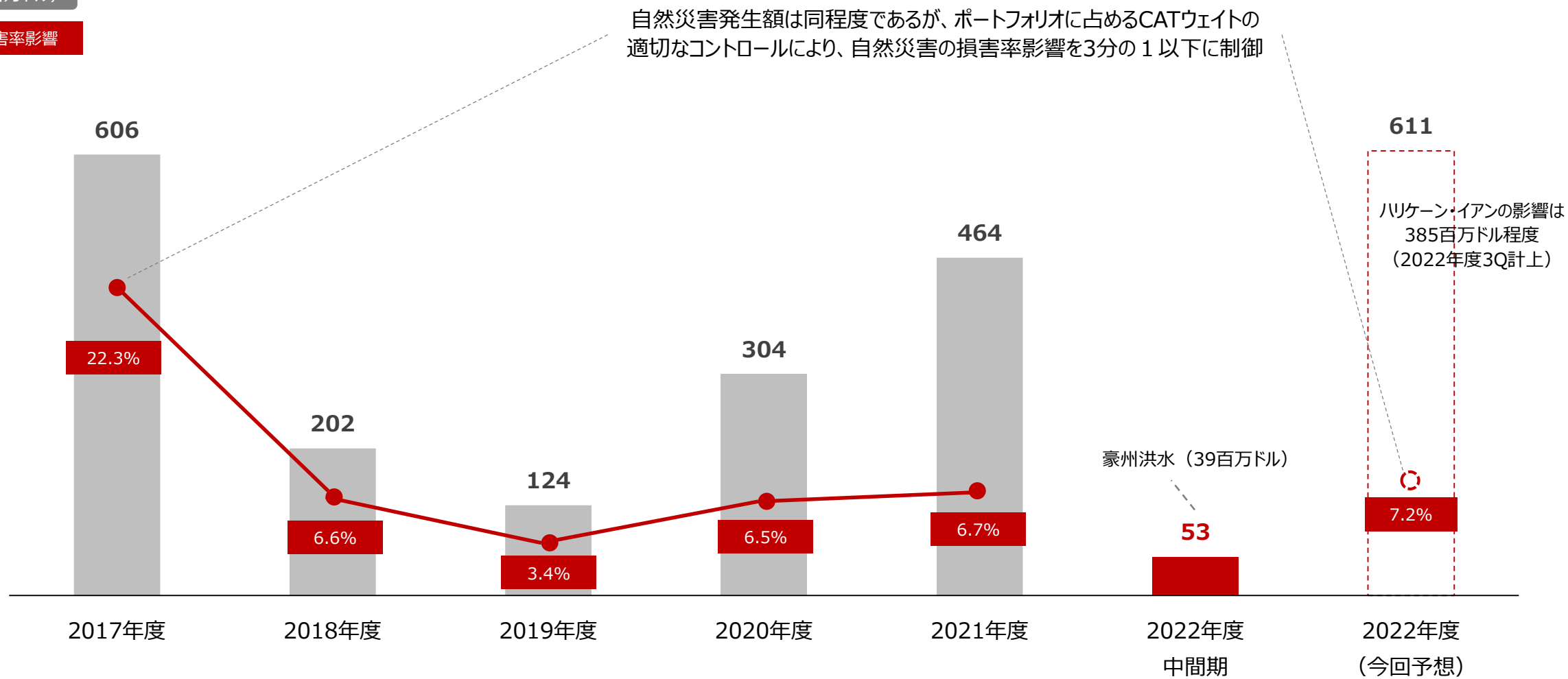
(参考) 海外自然災害 (SIコマース)

概要		事業別詳細			
グループ	国内損保	海外保険	国内生保	介護・シニア	ERM



海外自然災害の正味発生損害 (当年度発生)

(百万ドル)
損害率影響



(参考) 決算数値 (SIコマーシャル)

概要		事業別詳細			
グループ	国内損保	海外保険	国内生保	介護・シニア	ERM



主要業績

(百万ドル)	2021年度 通期		2022年度 中間期		2022年度 通期		
	実績	実績	実績	対前年増減	今回予想	対前年増減	
グロス保険料	12,272	8,490	+918	(+12.1%)	13,465	+1,192	(+9.7%)
正味保険料	7,564	5,918	+1,308	(+28.4%)	8,993	+1,429	(+18.9%)
既経過保険料	6,889	3,967	+820	(+26.1%)	8,437	+1,547	(+22.5%)
発生保険金	4,697	2,604	+528	(+25.4%)	5,861	+1,163	(+24.8%)
事業費	1,769	979	+136	(+16.2%)	1,966	+196	(+11.1%)
損害率※1	68.2%	65.6%	△0.3pt	-	69.5%	+1.3pt	-
事業費率※1	25.7%	24.7%	△2.1pt	-	23.3%	△2.4pt	-
コンバインド・レシオ※1	93.9%	90.3%	△2.4pt	-	92.8%	△1.1pt	-
保険引受利益	426	367	+133	(+56.7%)	610	+183	(+43.1%)
資産運用利益	335	174	△3	(△2.1%)	355	+20	(+6.0%)
その他損益※2	△255	△1,020	△914	-	△1,470	△1,214	-
当期純利益※2	427	△416	△683	-	△443	△870	-
為替損益	△59	+7	+31	-	△26	+33	-
有価証券売却・減損損失等※2	+220	+962	+880	-	+1,398	+1,178	-
税効果	△25	△155	△143	-	△229	△203	-
修正利益	562	397	+84	(+26.9%)	699	+137	(+24.4%)

(参考)
修正利益

※1 損害率、事業費率、コンバインド・レシオ算出における分母は既経過保険料

※2 現地IFRS会計により、未実現損益を含む

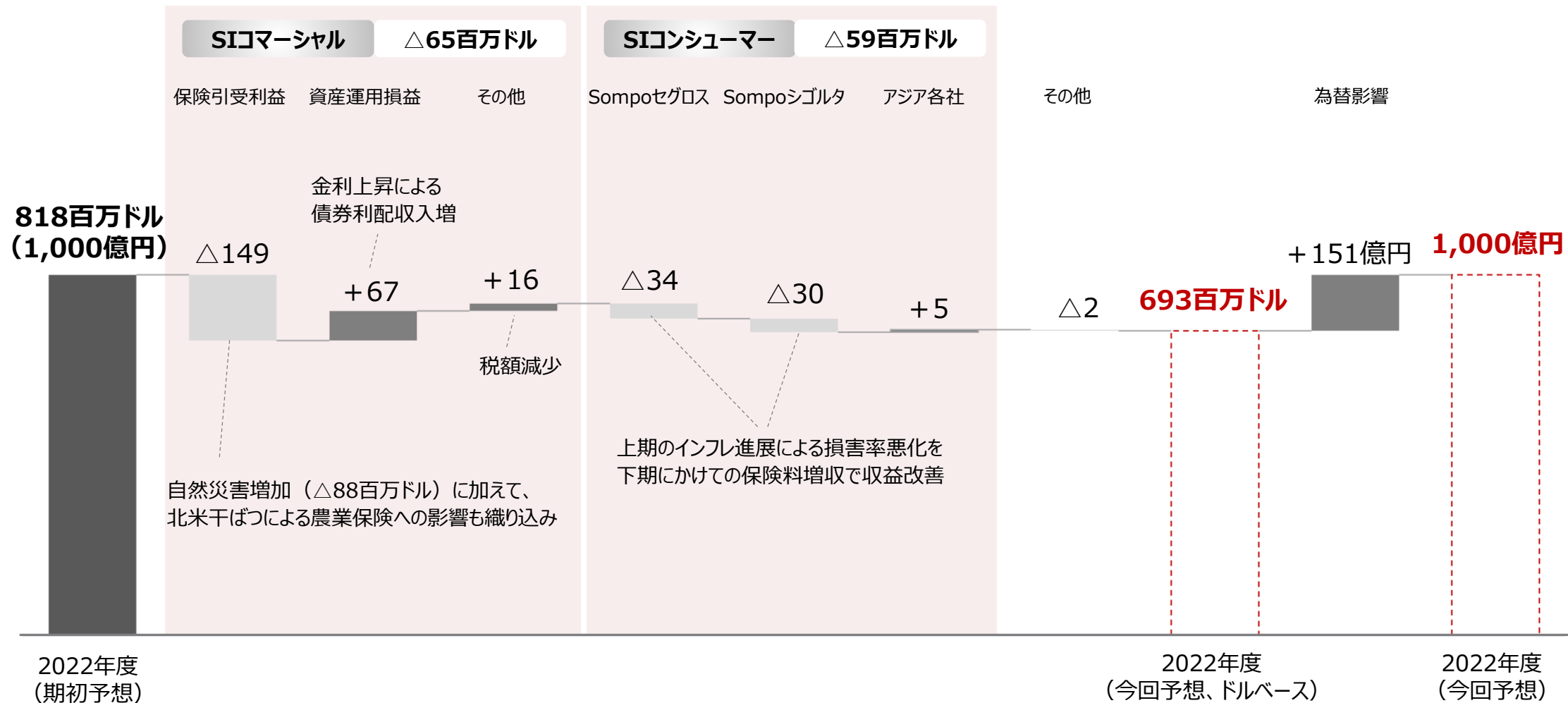
(参考) 今回予想の増減要因

概要		事業別詳細			
グループ	国内損保	海外保険	国内生保	介護・シニア	ERM



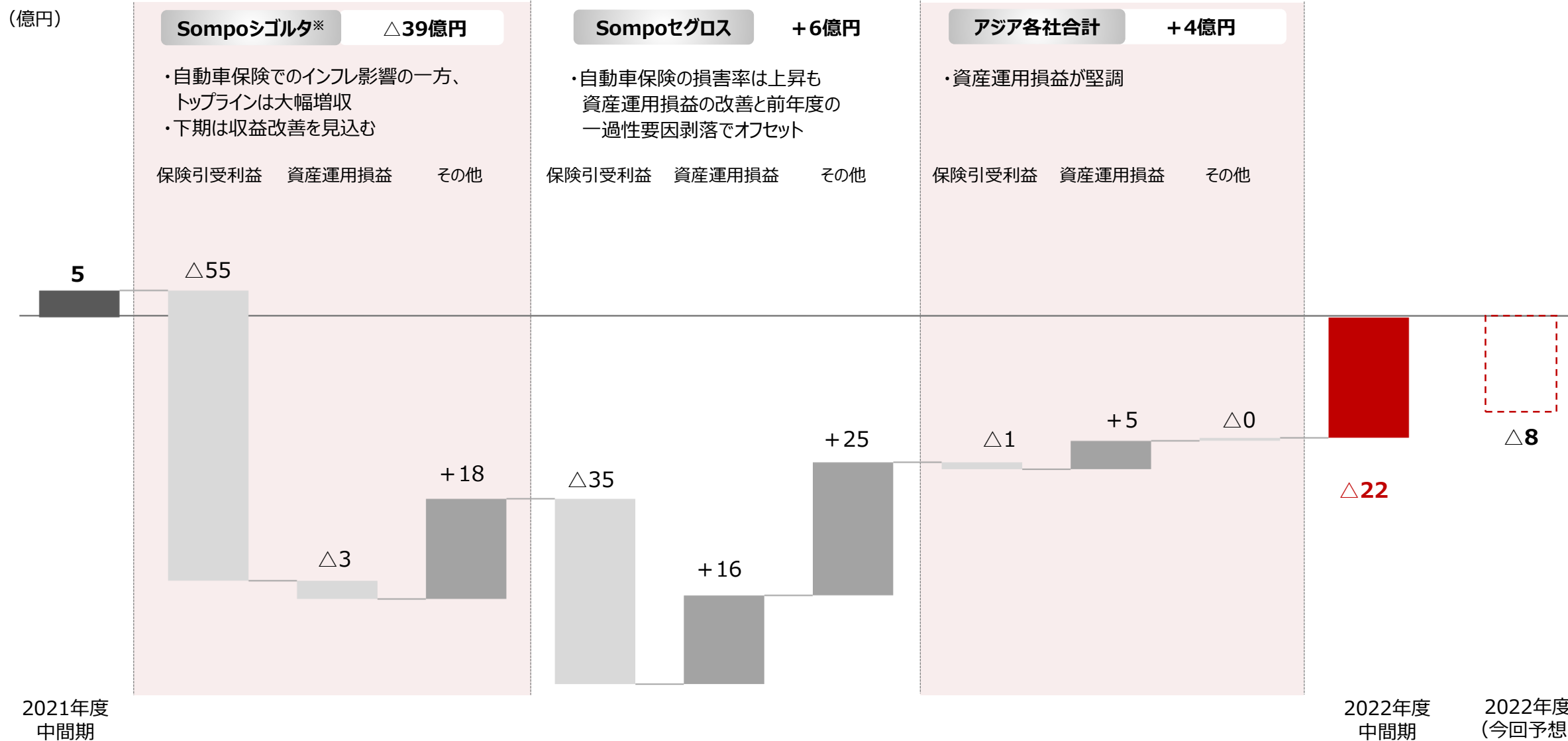
修正利益予想の変動要因

(百万ドル)



(参考) 業績概況 (SIコンシューマー)

SIコンシューマーの業績変動要因 (修正利益ベース)



(参考) 地域別業績概況

概要		事業別詳細			
グループ	国内損保	海外保険	国内生保	介護・シニア	ERM



地域別業績

	(億円)	収入保険料				修正利益			
		2022年度中間期		2022年度通期		2022年度中間期		2022年度通期	
		実績	増減	期初予想	今回予想	実績	増減	期初予想	今回予想
SIコマーシャル (欧米)		8,088	+2,991	10,383	13,024	543	+197	935	1,012
Sompoシゴルタ (中東・トルコ)		167	+57	245	537	△11	△39	37	△0
SIコンシューマー									
Sompoセグロス (南米・ブラジル)		481	+236	559	940	△58	+6	△10	△62
アジア各社合計		353	+116	613	725	46	+4	65	85
その他※1		—	—	—	—	△10	△10	△26	△35
合計		9,090	+3,402	11,801	15,237	510	+158	1,000	1,000

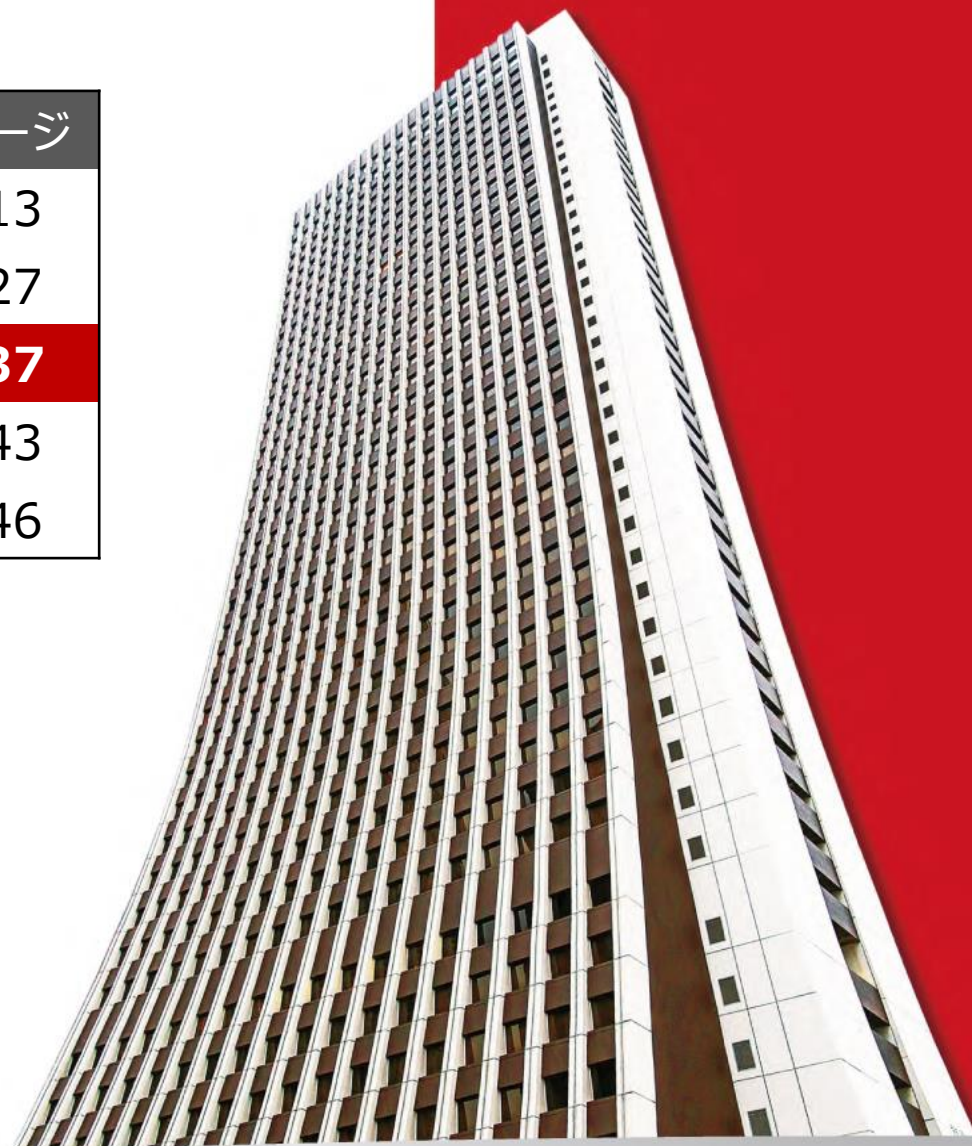
(参考) 為替レート※2	2022年6月	対前年為替影響
円/米ドル	136.68	+23.6%
円/トルコリラ	8.18	△35.3%
円/ブラジルリアル	26.37	+18.2%

※1 コーポレートコストなど

※2 期初予想における前提為替レートは2022年3月末を使用 (122.39円/米ドル)
 今回予想における前提為替レートは2022年9月末を使用 (144.81円/米ドル)

事業別詳細

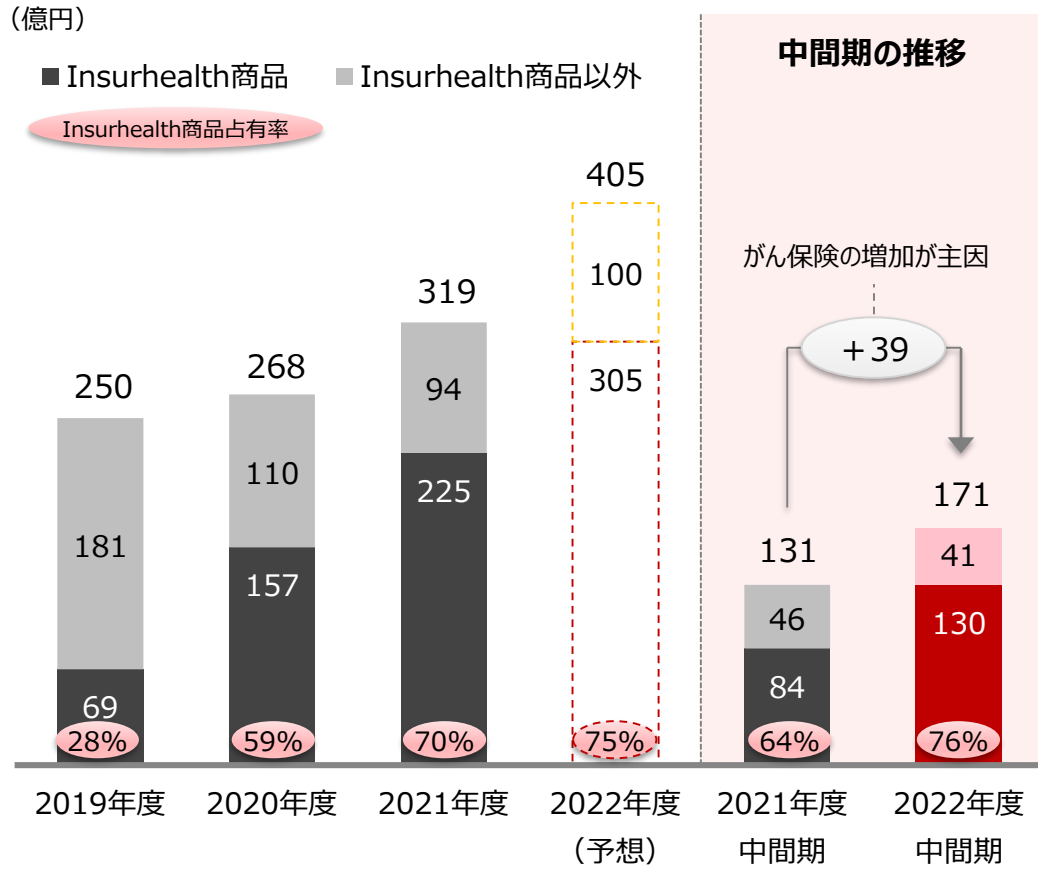
タイトル	ページ
国内損保事業（損保ジャパン）	13
海外保険事業	27
国内生保事業	37
介護・シニア事業	43
ERM	46



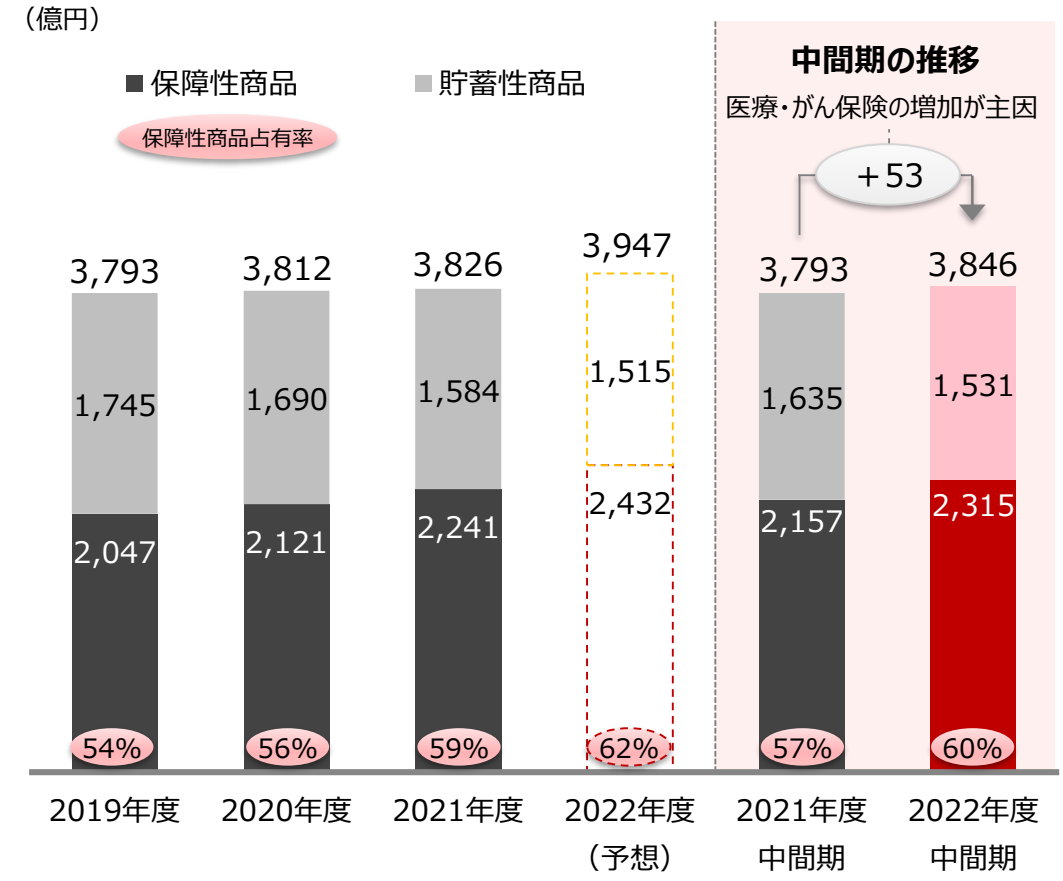
新契約年換算保険料・保有契約年換算保険料

- がん保険などのInsurhealth®商品の販売は引き続き好調、2022年度中間期の新契約年換算保険料は+39億円の171億円
- 2022年度中間期の保有契約年換算保険料も3,846億円と順調に拡大

新契約年換算保険料

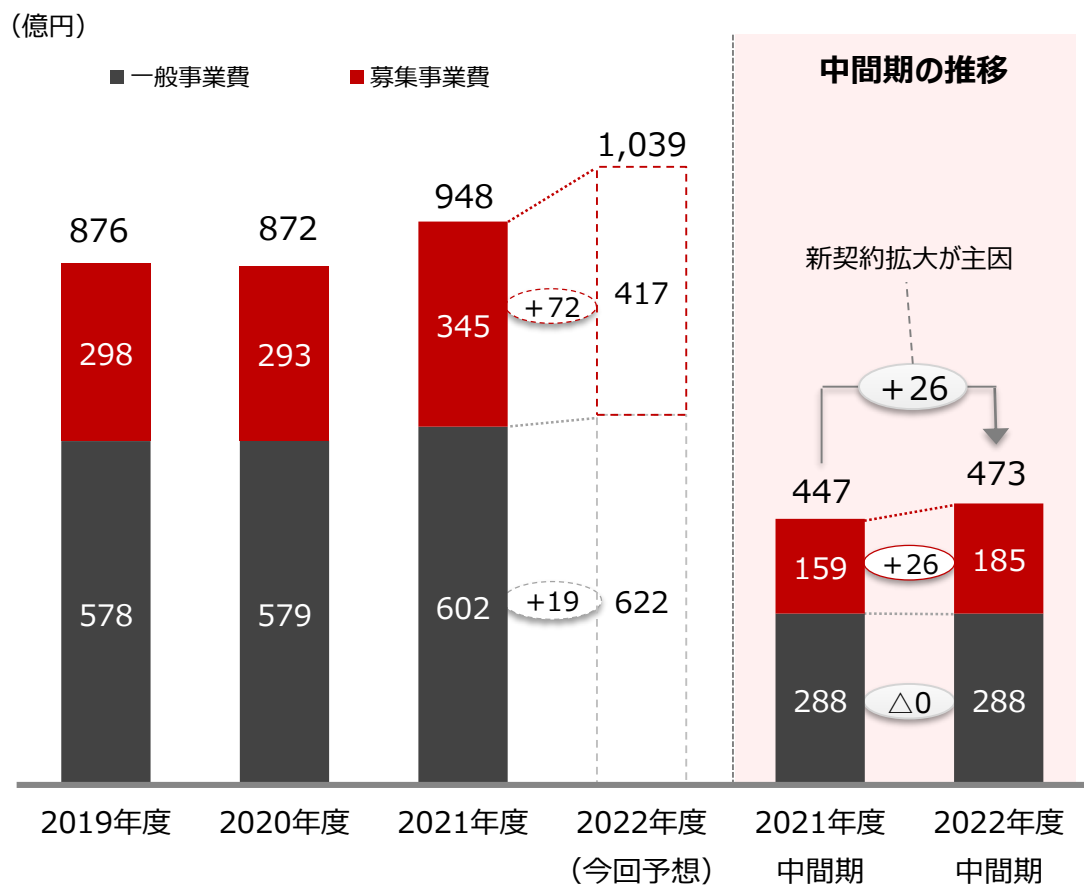


保有契約年換算保険料の推移

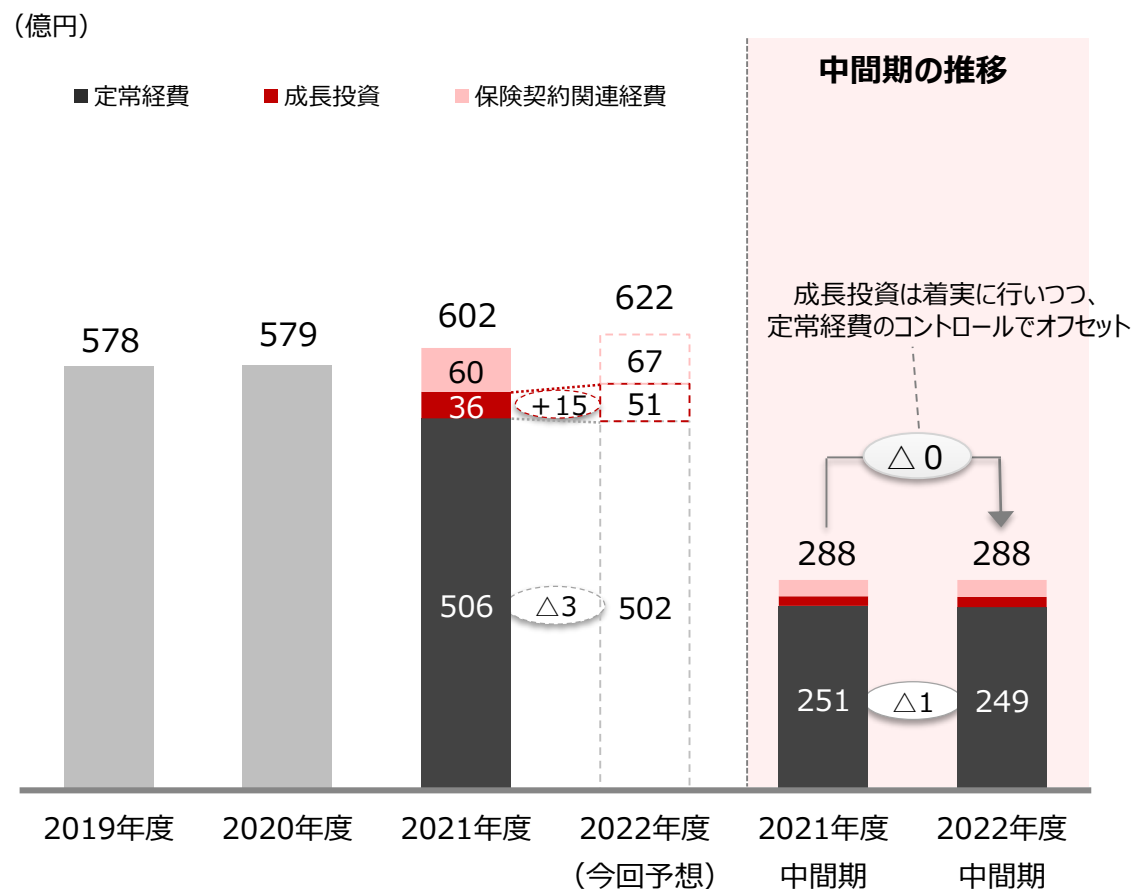


- 2022年度中間期は、新契約の拡大に伴う募集事業費増加の一方で、定常経費は適切にコントロール

事業費の推移



一般事業費の推移

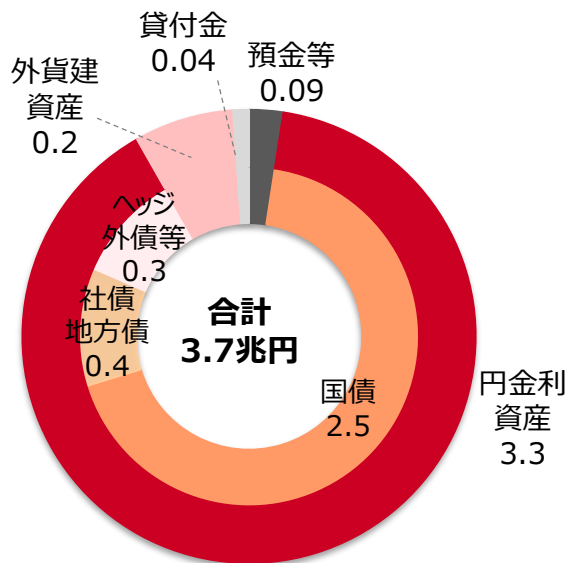


資産ポートフォリオ・資産運用損益

- 資産増加による利配増、円安による為替差益増で、2022年度中間期の資産運用損益は304億円（期初予想比+53億円）
- 通期（今回予想）の資産運用損益は、ヘッジコストの上昇を想定しつつ増額修正（期初予想比+65億円）

資産ポートフォリオ（2022年9月末、一般勘定）

（兆円）

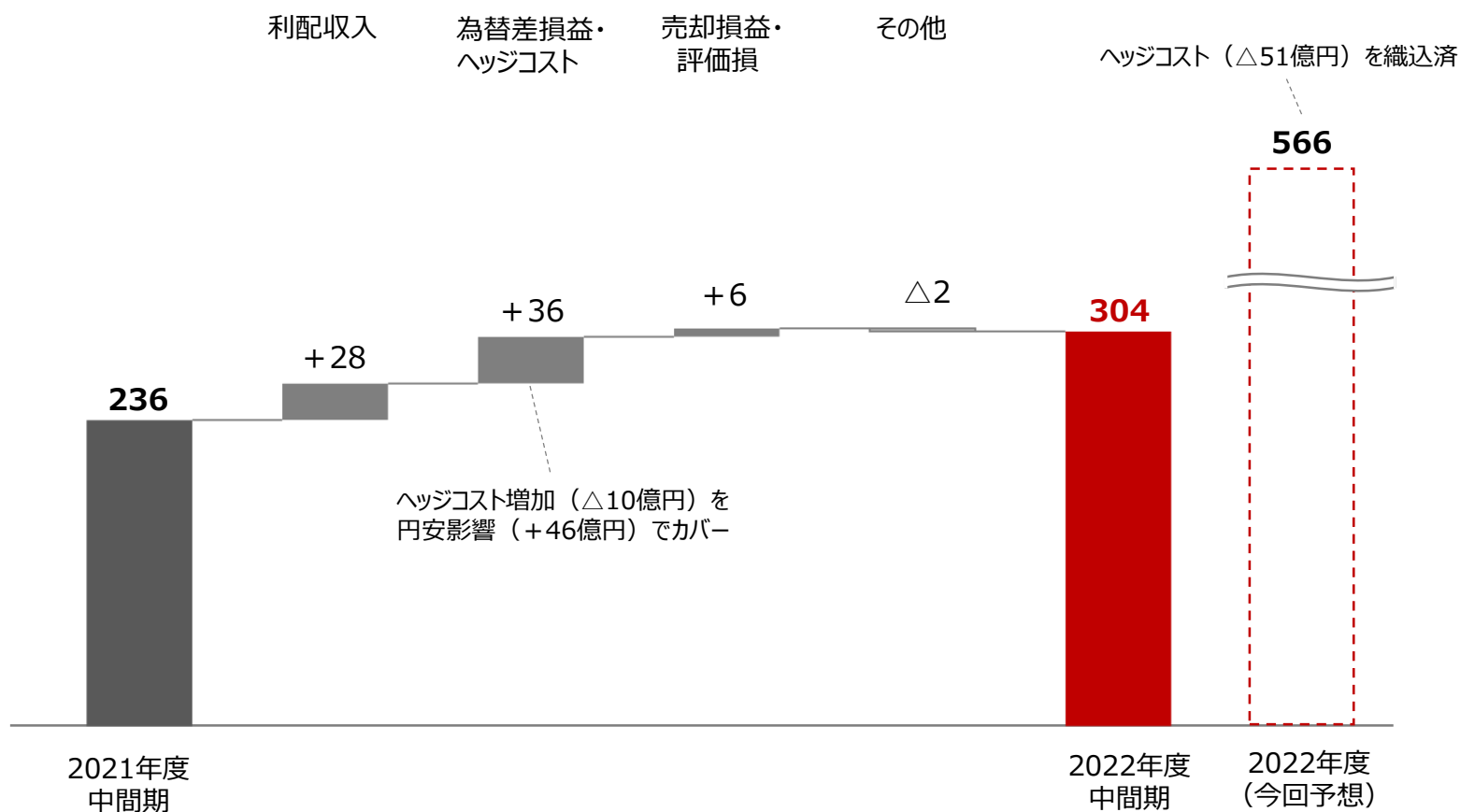


	2022年3月末	2022年9月末
インカム利回り	1.5%	1.5%
デュレーション		
資産	16年	16年
負債	24年	22年

（参考）円金利資産、外貨建債券の格付構成：BB格以下の保有なし

（参考）特別勘定の残高：250億円（主に国内株式・債券で運用）

資産運用損益（一般勘定）の増減要因



(参考) 決算数値

概要		事業別詳細			
グループ	国内損保	海外保険	国内生保	介護・シニア	ERM



主要業績

(億円)	2021年度 中間期	2022年度 中間期	増減		2021年度 実績 (A)	2022年度			対前年増減 (C-A)
						期初予想 (B)	今回予想 (C)	増減 (C-B)	
新契約年換算保険料	131	171	+39	(+30.1%)	319	405	405	-	+85
保険料等収入※1	2,140	2,123	△17	(△0.8%)	4,368	4,448	4,378	△69	+9
責任準備金繰入等※2	1,366	1,314	△52	(△3.8%)	2,786	2,825	2,719	△105	△66
保険金等支払	378	640	+262	(+69.3%)	803	833	1,136	+302	+332
事業費	447	473	+26	(+5.8%)	948	1,049	1,039	△9	+91
資産運用損益	245	302	+57	(+23.4%)	502	518	562	+43	+59
(うち一般勘定)	236	304	+68	(+28.9%)	484	500	566	+65	+81
基礎利益※3	176	△62	△238	(△135.3%)	275	225	12	△212	△267
経常利益※1	163	△24	△187	(△115.0%)	264	187	△2	△190	△267
当期純利益	100	△37	△138	(△137.5%)	159	105	△37	△142	△197
修正利益	185	55	△130	(△70.3%)	336	350	180	△170	△156

※1 法令に則った生命保険会社の様式に基づく数値（連結様式とは異なる）

※2 解約返戻金、満期保険金、生存給付金、年金、その他返戻金支払影響および特別勘定資産運用損益を含む

※3 ヘッジコストを含む

(参考) 修正純資産のコンバージョン

概要		事業別詳細			
グループ	国内損保	海外保険	国内生保	介護・シニア	ERM



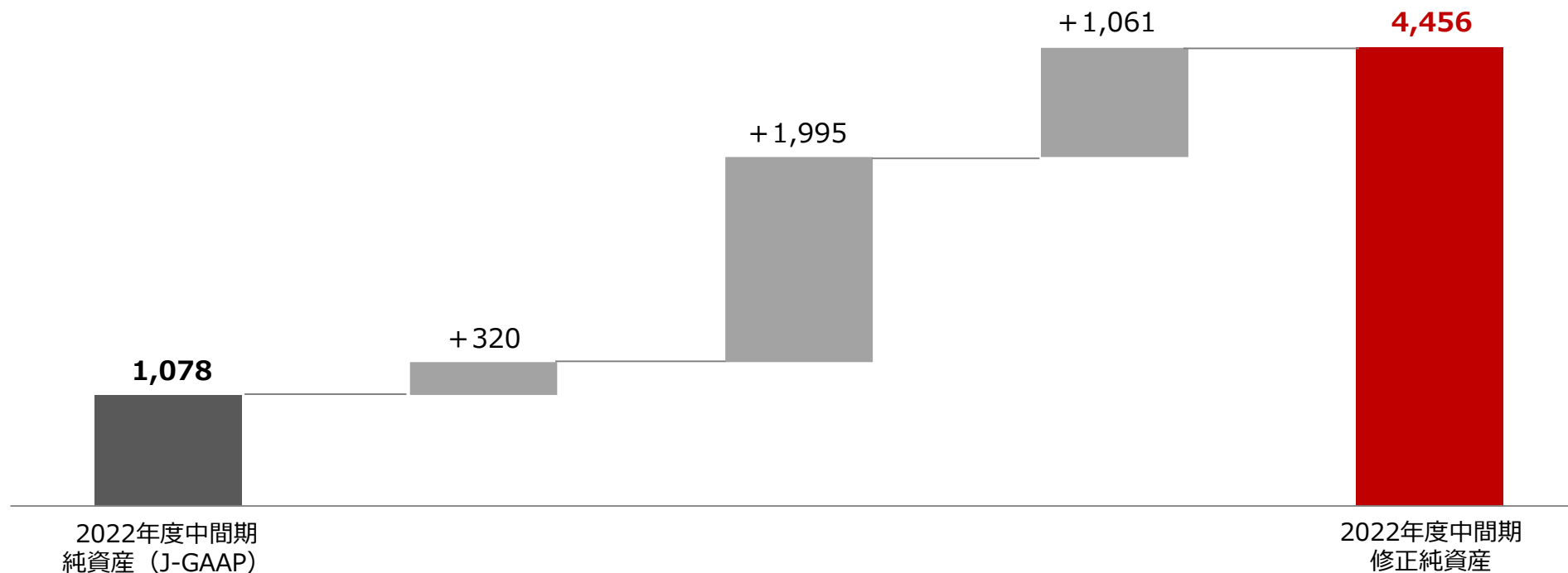
修正純資産のコンバージョン

(億円)

資本性準備金※1

責任準備金補正※2

繰延新契約費※3



※1 危険準備金、価格変動準備金 (税引後)

※2 保守的に計算している責任準備金を保険料計算に用いる基礎率により再計算 (税引後)

※3 契約初年度に発生する募集手数料等の新契約費を10年間で償却 (税引後)

事業別詳細

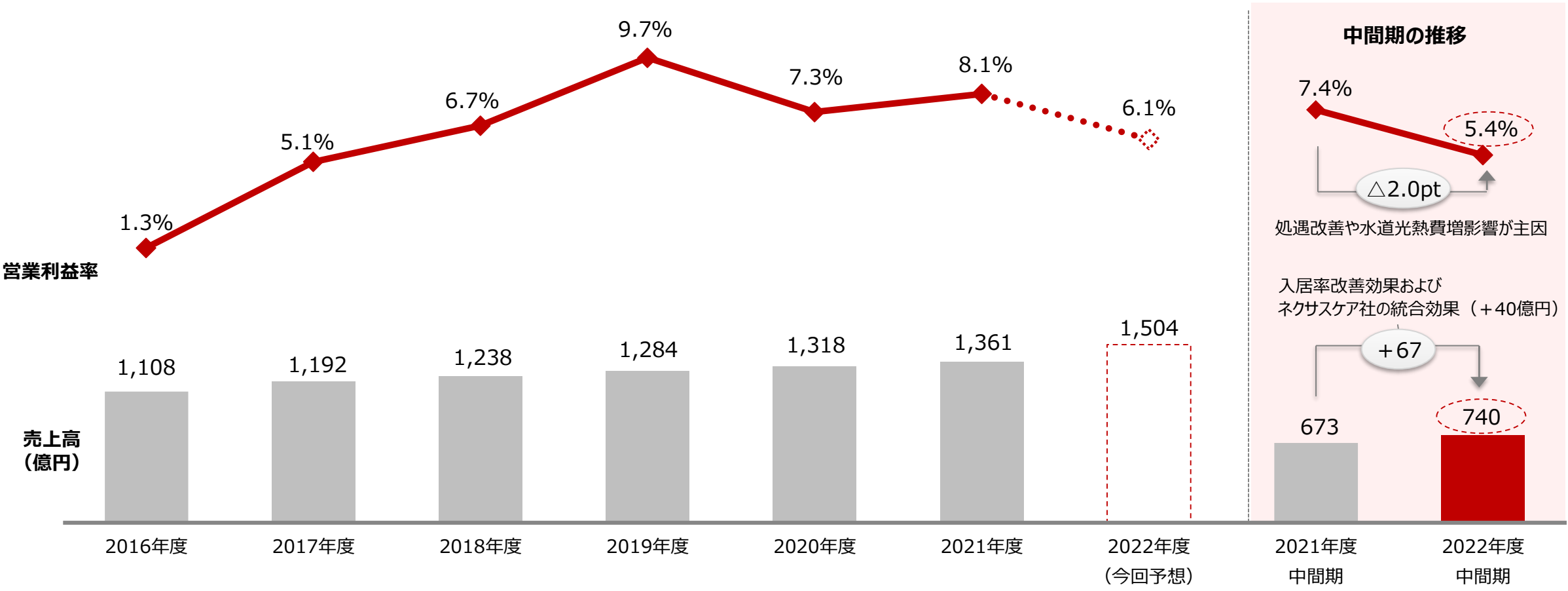
タイトル	ページ
国内損保事業（損保ジャパン）	13
海外保険事業	27
国内生保事業	37
介護・シニア事業	43
ERM	46



売上高・営業利益率

- ネクサスクアの買収効果に加え、入居率の改善を主因に、2022年度中間期の売上高は+67億円
- 計画どおりであり、2022年度通期業績予想に変更なし

SOMPOケアの売上高・営業利益率の推移



中間期の推移

△2.0pt

処遇改善や水道光熱費増影響が主因

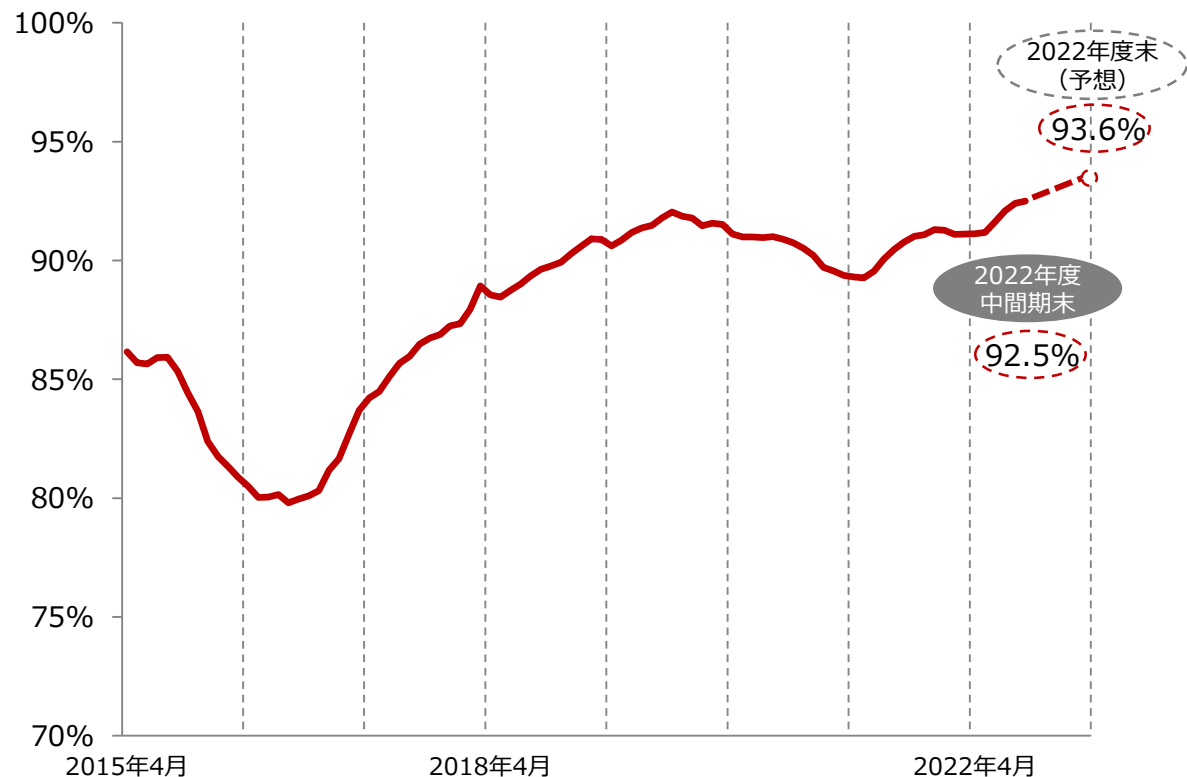
入居率改善効果および
ネクサスクア社の統合効果 (+40億円)

(参考) 入居率・事業所数

概要			事業別詳細		
グループ	国内損保	海外保険	国内生保	介護・シニア	ERM

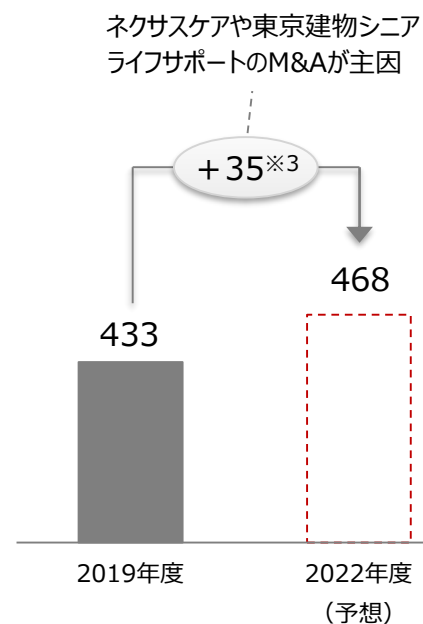


入居率^{※1※2}の推移

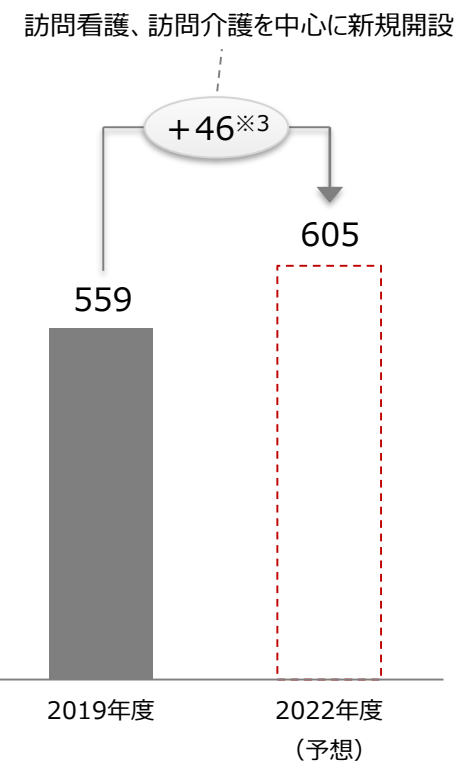


事業所数の推移

居住系事業所数



在宅系事業所数



※1 入居率 = 入居者数 ÷ 施設定員数

※2 旧SOMPOケア・旧SOMPOケアネクストの入居率を統合して記載

※3 新規開設数およびM&Aから廃止した事業所数を除いた数

事業別詳細

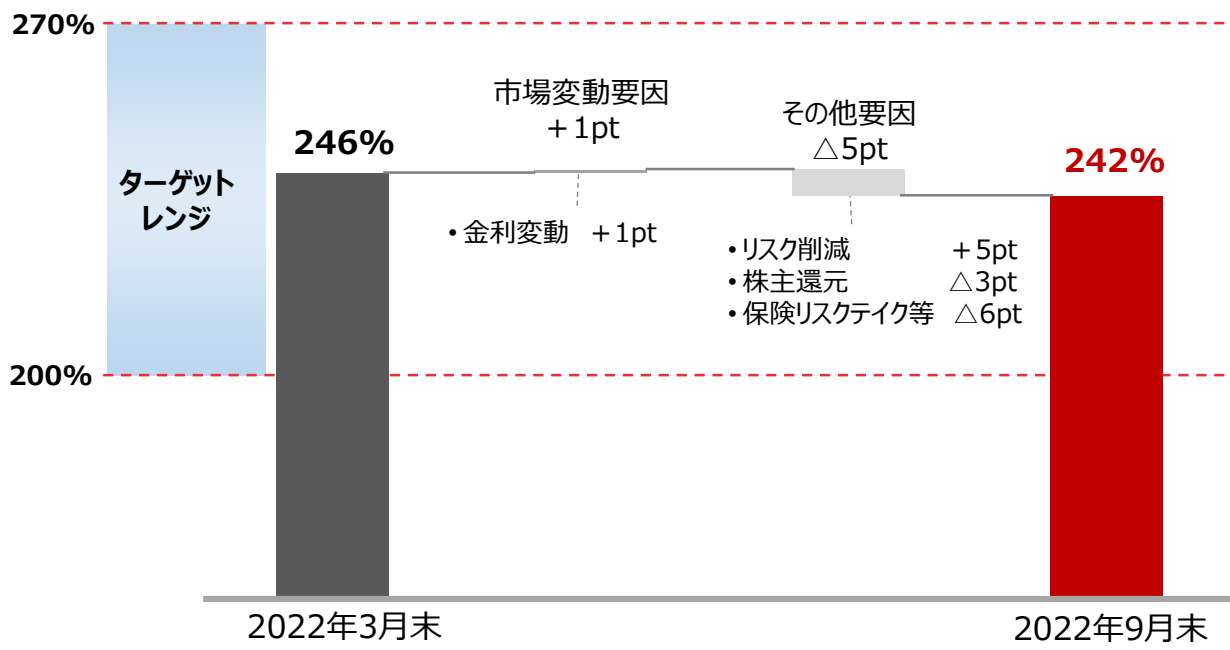
タイトル	ページ
国内損保事業（損保ジャパン）	13
海外保険事業	27
国内生保事業	37
介護・シニア事業	43
ERM	46



財務健全性：ESR（99.5%VaR）

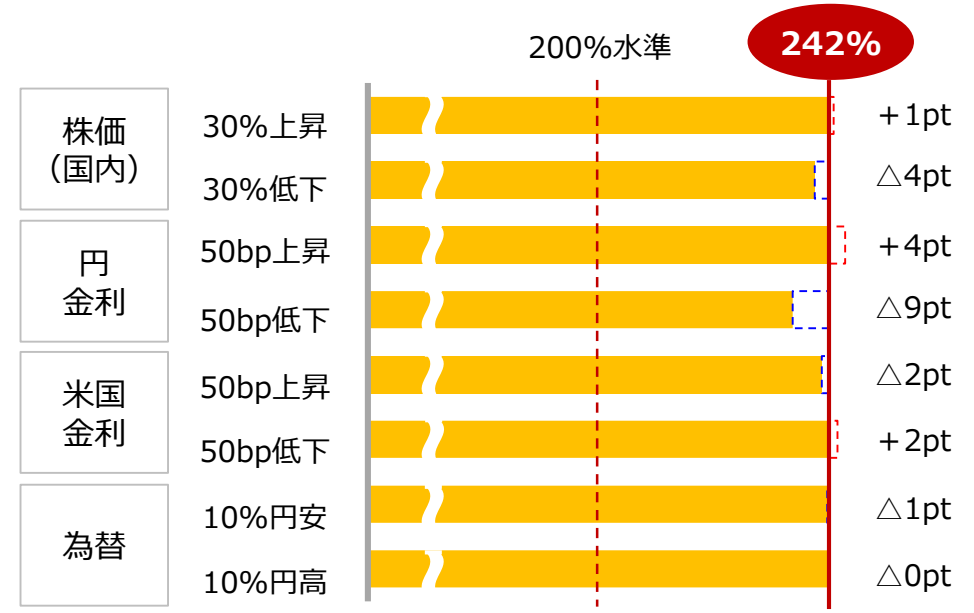
- 2022年9月末のESRは242%と問題ない水準
- 超長期債購入に伴う金利リスク削減により、**円金利感応度は低下**

ESR（99.5%VaR）※1の推移



リスク削減取組み（年度目標進捗）		
株式リスク	政策株式売却	294億円／500億円
金利リスク	超長期債券購入額	2,649億円／3,000億円

ESR（99.5%VaR）の感応度分析（2022年9月末時点）



(参考) 市場環境	2022年9月末	(増減※2)
国内株価 (TOPIX)	1,835.94	(△5.7%)
国内金利 (30年国債利回り)	1.39%	(+45bp)
米国金利 (10年国債利回り)	3.83%	(+149bp)
為替 (米ドル円レート)	144.81円	(+18.3%)

※1 ソルベンシー II に準拠した算出方法

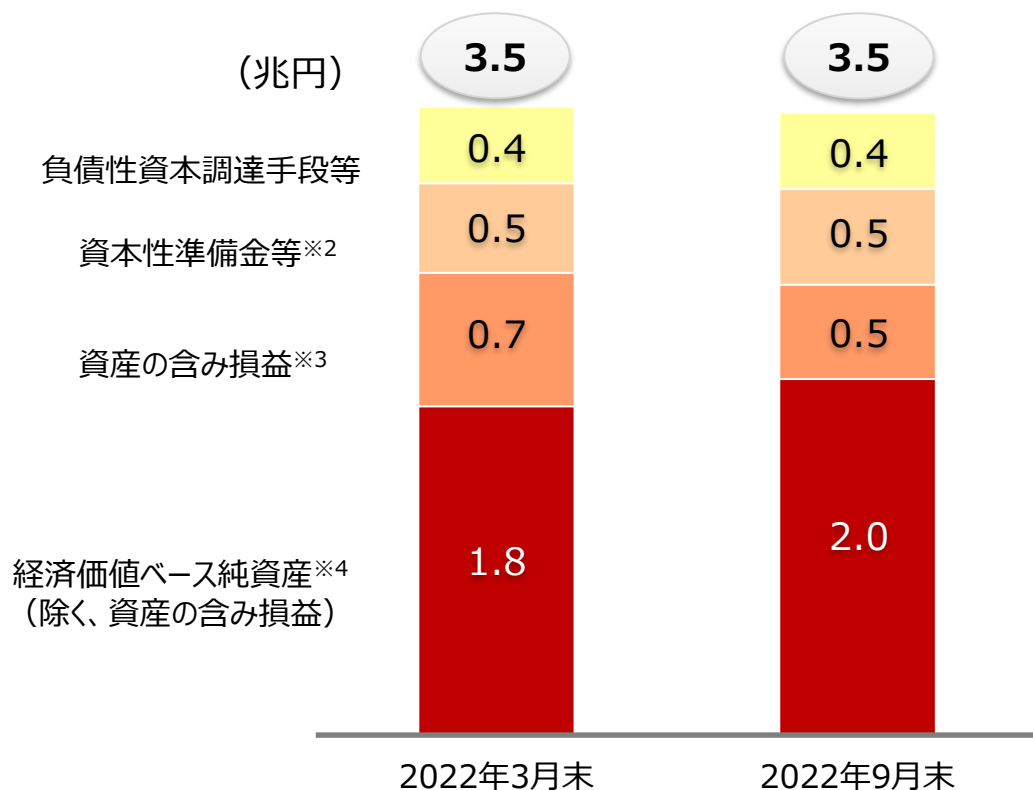
※2 2022年3月末対比

(参考) 実質自己資本・リスク量のブレイクダウン

概要			事業別詳細		
グループ	国内損保	海外保険	国内生保	介護・シニア	ERM

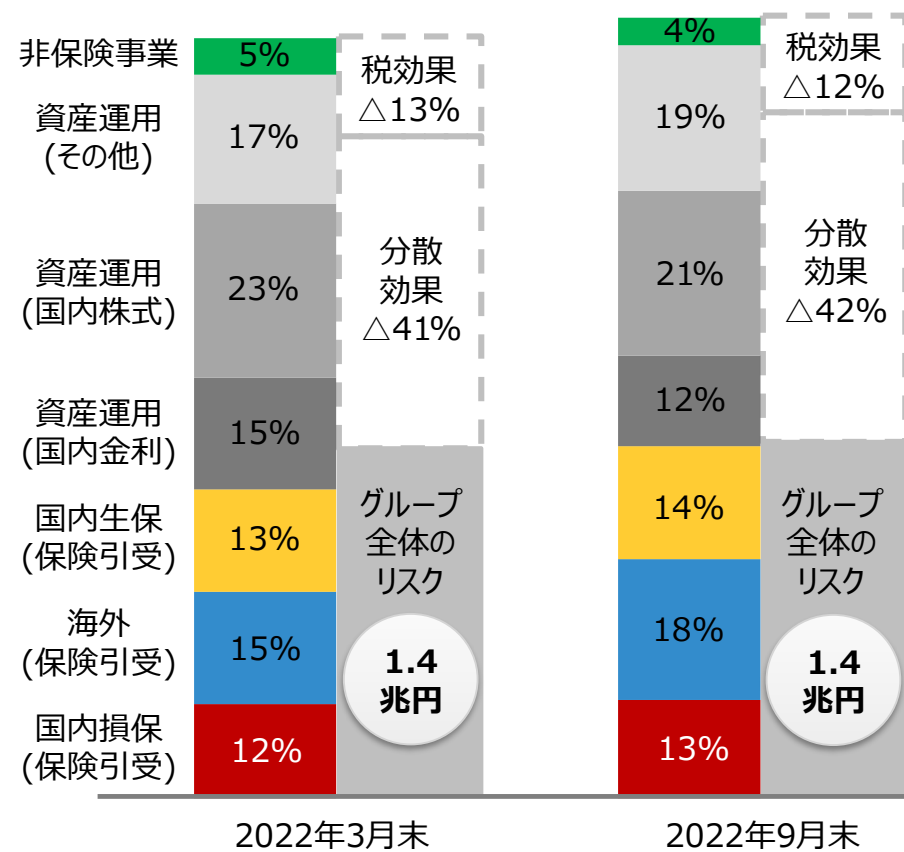


実質自己資本※1



- ※1 実質自己資本 = 単体BS純資産合計額 + 保有契約価値 - のれん等 + 時価評価しない資産の含み損益 + 資本性準備金等 + 負債性資本調達手段等
- ※2 価格変動準備金、異常危険準備金など (税引後)
- ※3 時価評価しない資産を含めた有価証券等の含み損益
- ※4 単体BS純資産合計額に生損保の保有契約価値などを加算 (のれんや非支配株主持分等は控除)

リスク量※5



- ※5 リスク量は保有期間1年、99.5%VaRで計測
- リスク要因毎のリスク量：リスク要因間の分散効果等控除前 (税引前)
- グループ全体のリスク：リスク要因毎のリスク量合計 - 分散効果 - 税効果

将来予想に関する記述について

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【お問い合わせ先】



SOMPOホールディングス株式会社

IR室

電話番号： 03-3349-3913

email : ir@sompo-hd.com

URL : <https://www.sompo-hd.com/>